

現在の感染・療養状況等について

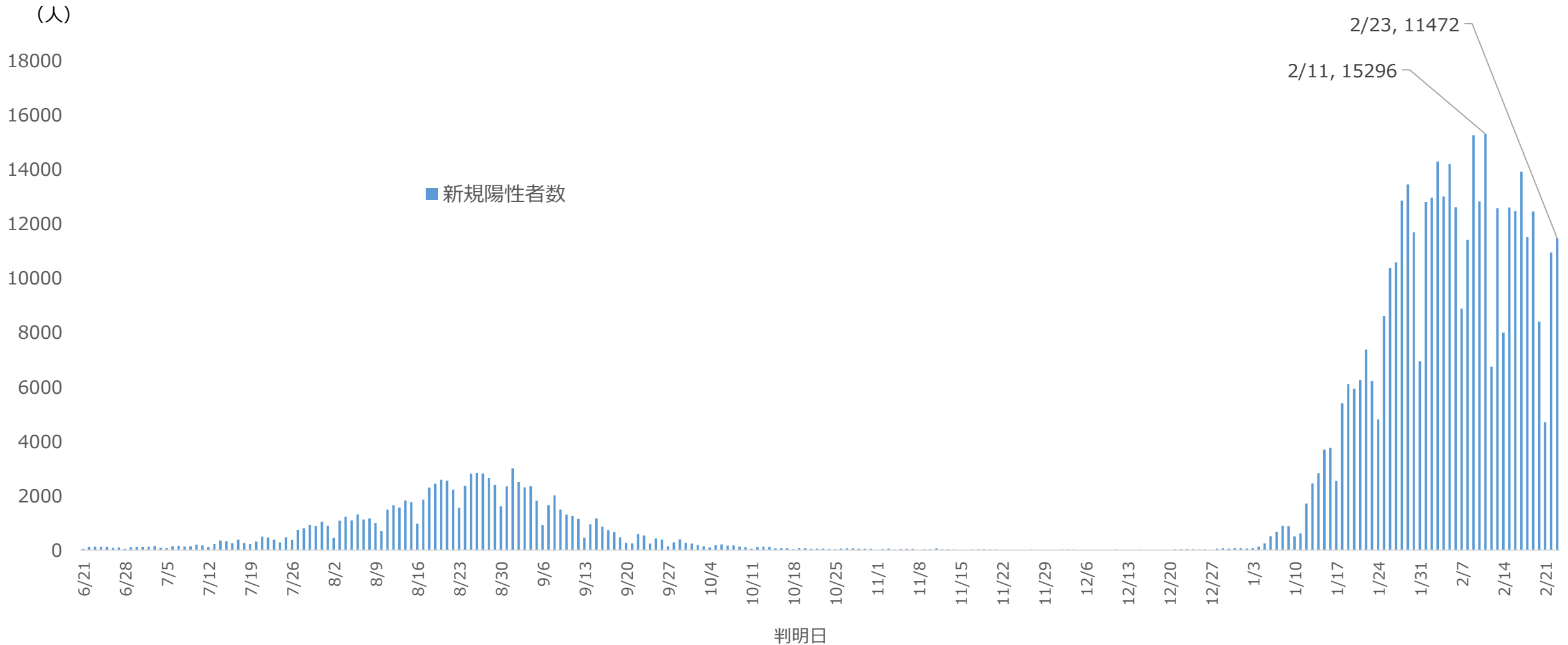
大阪府健康医療部

- 1 陽性者数等の推移 P3~11
- 2 入院・療養状況 P12~17
- 3 医療提供体制がひっ迫している要因の分析について P18~26
- 4 重症者・死亡例の分析 P27~39
- 5 感染状況を踏まえた対応 P40~44

1 陽性者数等の推移

陽性者数の推移（2月23日時点）

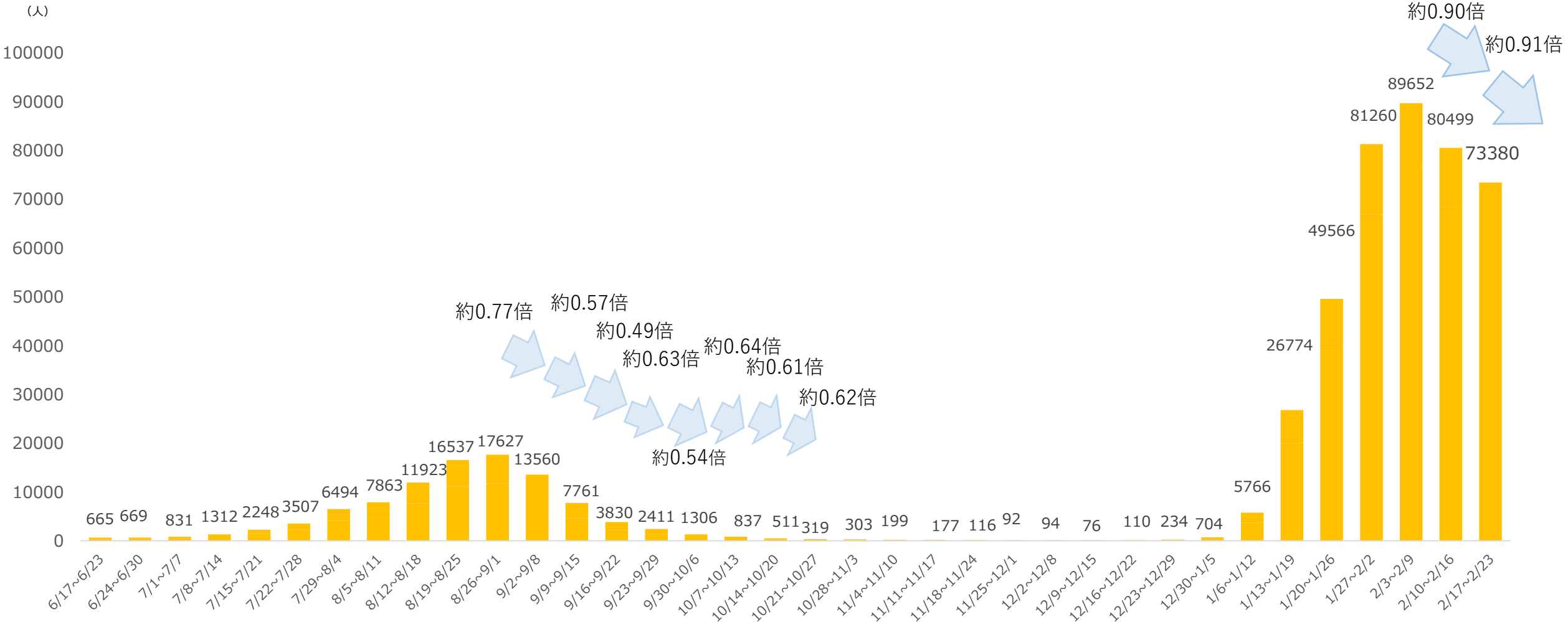
◆ 感染拡大は抑制されているものの、依然、1万人を超える陽性者数が確認され、減少は極めて緩やか。



※1月26日以降における大阪市保健所の陽性者発生届のHER-SYS処理遅延件数について、精査済みの数値を計上。

7日間毎の新規陽性者数(2月23日時点)

◆ 直近1週間は前週より減少に転じているが、依然、大規模な感染拡大が継続。(直近1週間は平均約10,483人/日)
 第五波と比較すると、減少速度は極めて緩やか。



※1月26日以降における大阪市保健所の陽性者発生届のHER-SYS処理遅延件数について、精査済みの数値を計上。

新規陽性者数及び前週同曜日増加比の推移

上段：新規陽性者数
下段：前週同曜日増加比

◆ 今週の4日間はいずれも前週同曜日より減少しており、感染拡大は抑制。

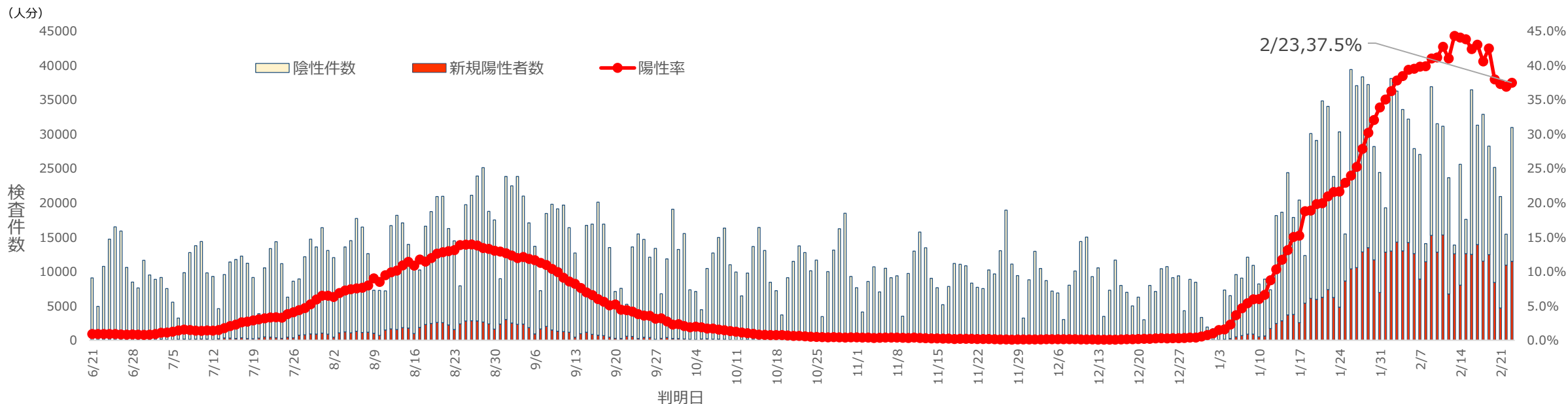
1月	26	27	28	29	30	31	1/1	週合計
	30	11	51	61	52	78	70	353
	(2.31)	(3.67)	(1.89)	(2.54)	(1.58)	(3.00)	(3.18)	(2.39)
	2	3	4	5	6	7	8	週合計
	57	79	124	244	505	671	891	2,571
	(1.90)	(7.18)	(2.43)	(4.00)	(9.71)	(8.60)	(12.73)	(7.28)
	9	10	11	12	13	14	15	週合計
	876	499	613	1,711	2,452	2,826	3,692	12,669
	(15.37)	(6.32)	(4.94)	(7.01)	(4.86)	(4.21)	(4.14)	(4.93)
	16	17	18	19	20	21	22	週合計
3,760	2,549	5,394	6,101	5,933	6,252	7,375	37,364	
(4.29)	(5.11)	(8.80)	(3.57)	(2.42)	(2.21)	(2.00)	(2.95)	
23	24	25	26	27	28	29	週合計	
6,219	4,800	8,612	10,375	10,578	12,850	13,449	66,883	
(1.65)	(1.88)	(1.60)	(1.70)	(1.78)	(2.06)	(1.82)	(1.79)	
2月	30	31	2/1	2	3	4	5	週合計
	11,684	6,943	12,802	12,954	14,288	13,006	14,200	85,877
	(1.88)	(1.45)	(1.49)	(1.25)	(1.35)	(1.01)	(1.06)	(1.28)
	6	7	8	9	10	11	12	週合計
	12,603	8,883	11,409	15,263	12,826	15,296	6,745	83,025
	(1.08)	(1.28)	(0.89)	(1.18)	(0.90)	(1.18)	(0.48)	(0.97)
	13	14	15	16	17	18	19	週合計
12,572	7,996	12,597	12,467	13,912	11,504	12,451	83,499	
(1.00)	(0.89)	(1.10)	(0.82)	(1.08)	(0.75)	(1.85)	(1.01)	
20	21	22	23	24	25	26	週合計	
8,400	4,702	10,939	11,472					
(0.67)	(0.59)	(0.87)	(0.92)					

※1月26日以降における大阪市保健所の陽性者発生届のHER-SYS処理遅延件数について、精査済みの数値を計上。

検査件数と陽性率

◆ 陽性率はやや減少傾向にあるが、依然4割弱と高い。自費検査、無料検査の陽性判明率は、直近1週間で低下。

【行政検査】



【自費検査】

自費検査（府内に営業所がある自費検査のみを提供する民間会社等）及び新型コロナ検査実施事業者（薬局等）において有料で実施した検査件数

期間	自費検査件数	(参考値) 陽性判明数 ※1	陽性判明率
1/31～2/6	16,444 件	803 名	4.9 %
2/7～2/13	13,688 件	1,136 名	8.3 %
2/14～2/20	10,959 件	771 名	7.0 %

【無料検査】

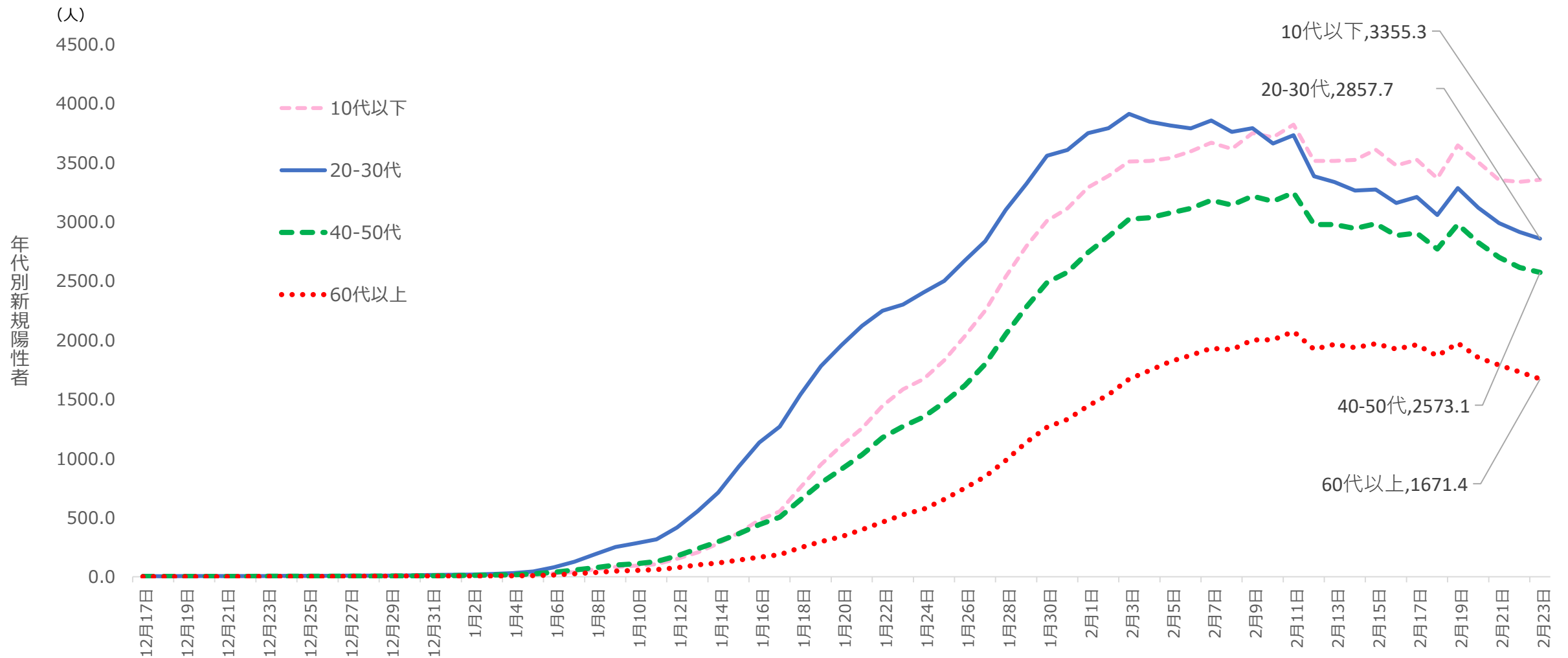
新型コロナ検査実施事業者（薬局等）で実施された検査件数
 （ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業と感染拡大傾向時の一般検査事業の合計）

期間	無料検査件数	(参考値) 陽性判明数 ※1	陽性判明率
1/31～2/6	50,979 件	7,211 名	14.1 %
2/7～2/13	45,387 件	6,380 名	14.1 %
2/14～2/20	45,764 件	4,457 名	9.7 %

※1 陽性判明数の中には、府外に発生届が提出されている人や確定診断されていない人も含まれるため、陽性判明数は参考値としています。
 （陽性者数は、国のシステム（HER-SYS）上、行政検査、自費検査、無料検査のいずれで陽性となったかは区別ができません。）

年代別新規陽性者数移動平均の推移（2月23日時点）

◆ 20・30代及び40・50代の新規陽性者数移動平均はやや減少傾向だが、10代以下、60代以上は横ばい。

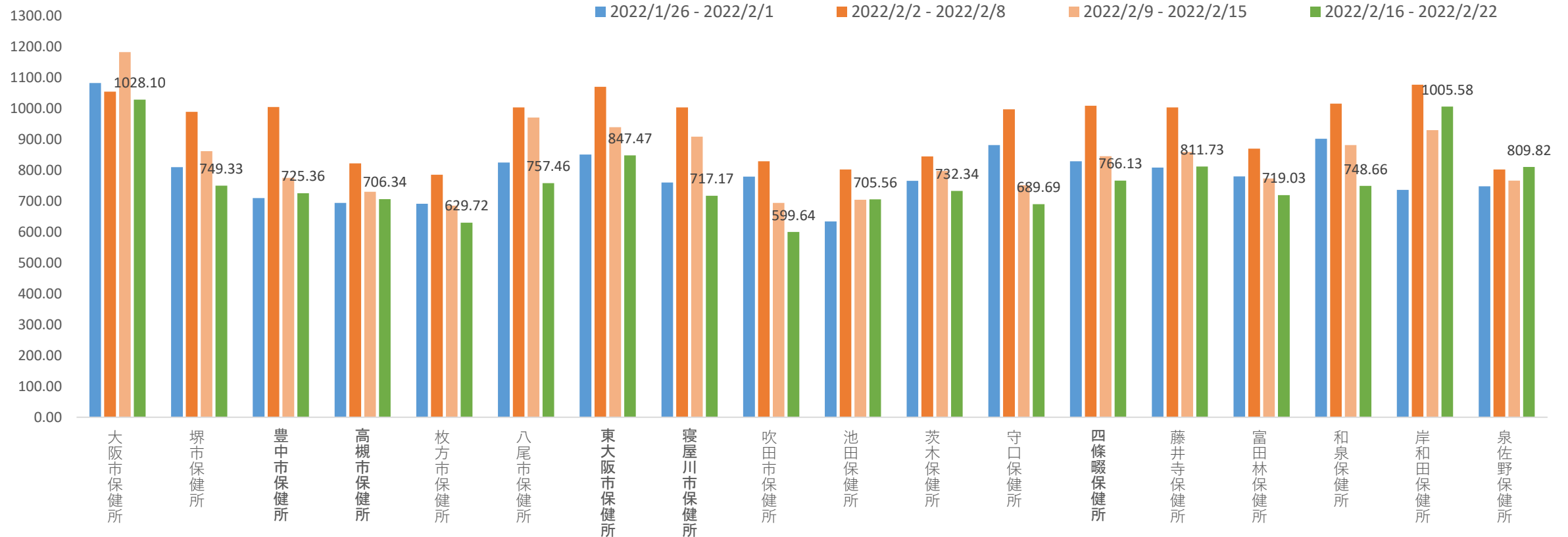


※1月26日以降における大阪市保健所の陽性者発生届のHER-SYS処理遅延件数について、精査済みの数値を計上。
 ※第六波(2/17時点)における年代調査中1,130件を除く

第六波の保健所管内別陽性者の状況（2月22日時点）

◆ 直近1週間は、一部保健所管内で陽性者数が減少している一方、一部保健所管内では増加あるいは横ばいで推移し、府内全域で減少している状態にない。
 （該当期間における居住地調査中28,763件を大阪市保健所に仮計上しており、正確な分析は困難）

人口10万人あたり新規陽性者数（保健所管内別）



【池田】池田市・箕面市・豊能町・能勢町 【茨木】茨木市・摂津市・島本町 【守口】守口市・門真市 【四條畷】大東市・四條畷市・交野市
 【藤井寺】松原市・羽曳野市・柏原市・藤井寺市 【富田林】富田林市・河内長野市・大阪狭山市・太子町・河南町・千早赤阪村
 【和泉】泉大津市・和泉市・高石市・忠岡町 【岸和田】岸和田市・貝塚市 【泉佐野】泉佐野市・泉南市・阪南市・熊取町・田尻町・岬町

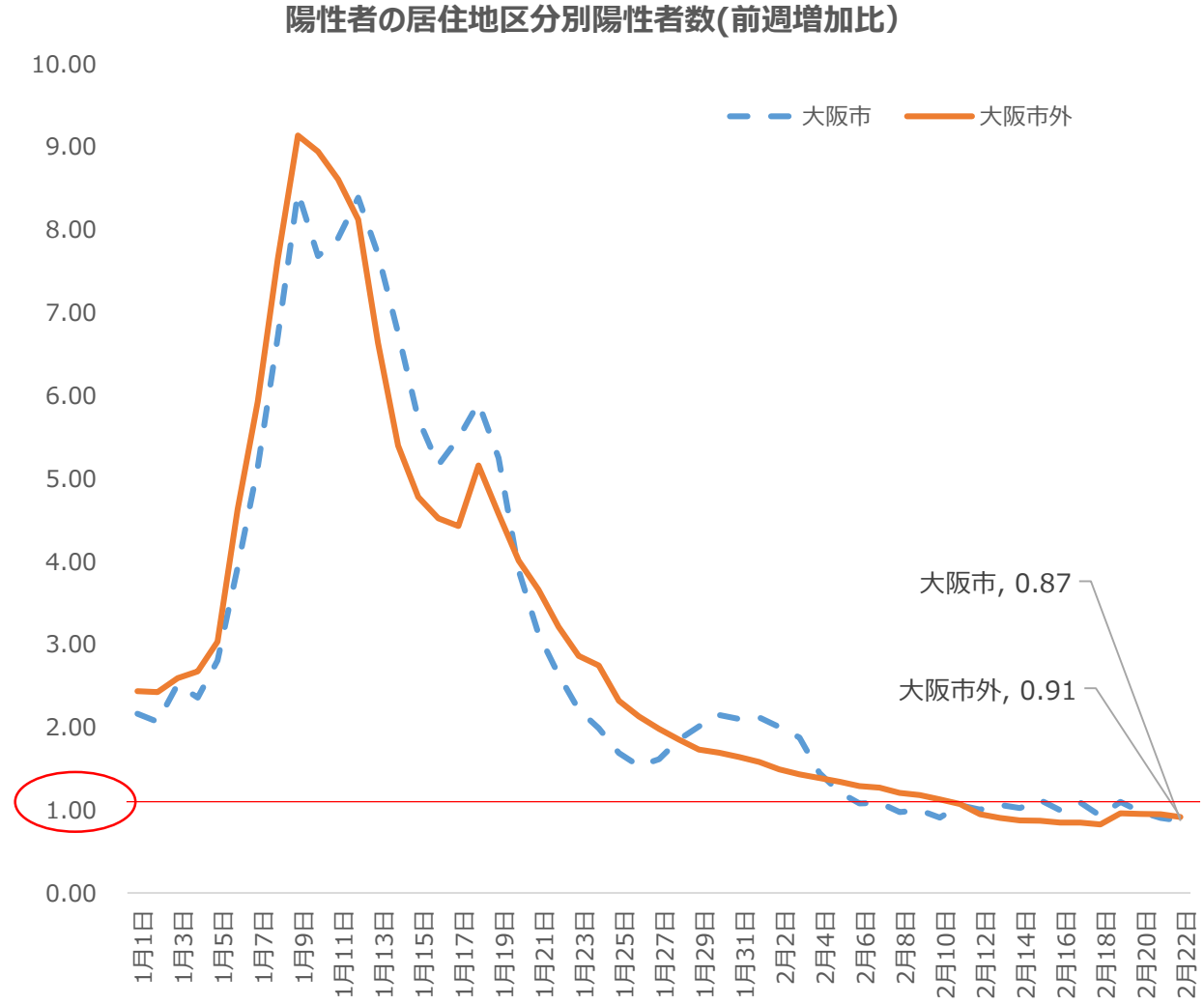
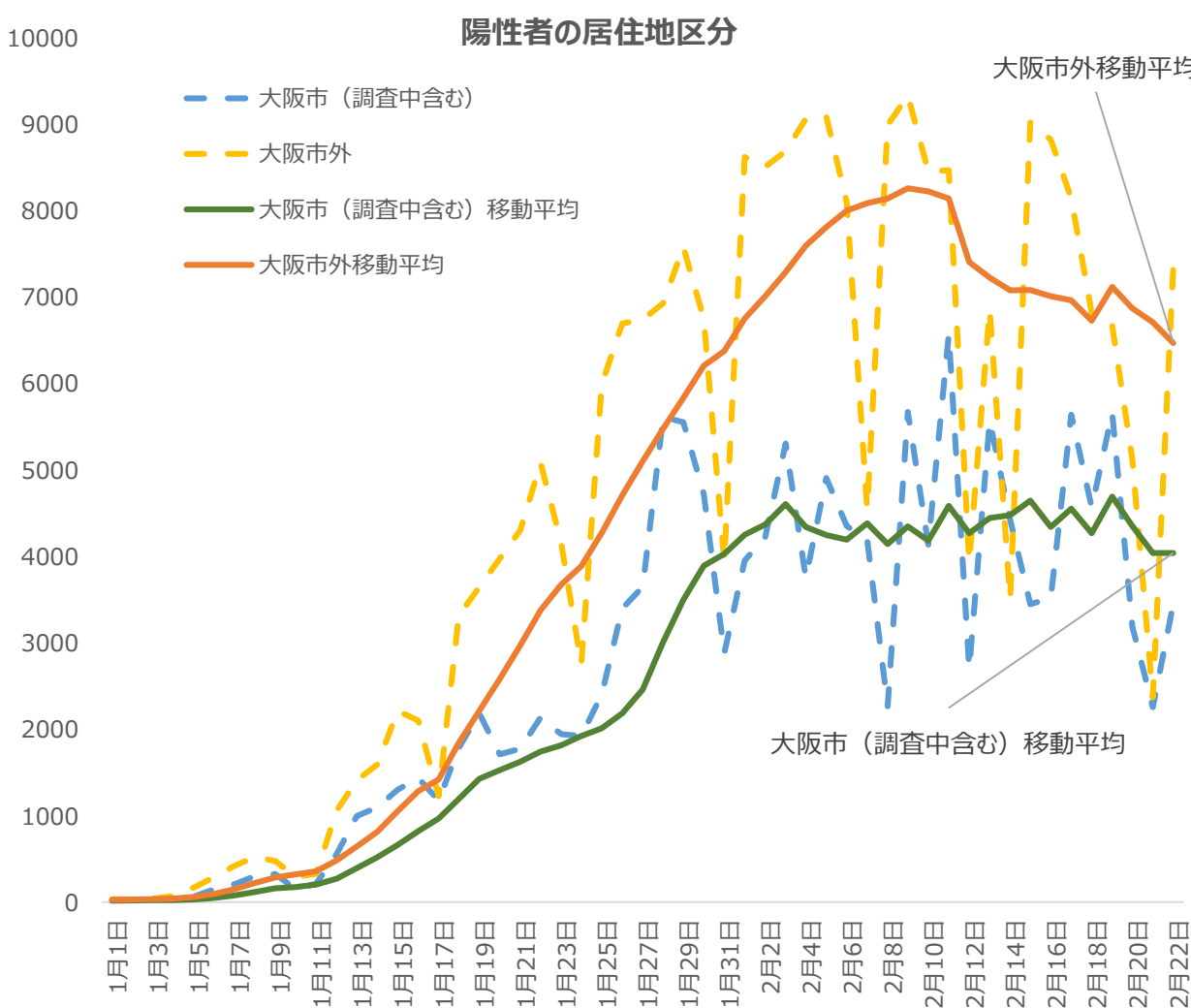
※居住地による（居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く）

※1月26日以降における大阪市保健所の陽性者発生届のHER-SYS処理遅延件数について、精査済みの数値を計上。

※居住地調査中（1/26-2/1:94件、2/2-2/8:2,022件、2/9-2/15:9,252件、2/16-2/22:17,395件）は、全て「大阪市」と仮定し、大阪市居住地に計上。

大阪市・大阪市内外居住地別陽性者数の推移（公表日別 2月22日時点）

◆ 大阪市内居住地陽性者数（調査中を全て大阪市居住地に計上）は横ばい。市外居住地陽性者数も減少が極めて緩やか。前週増加比はいずれも1を下回った。



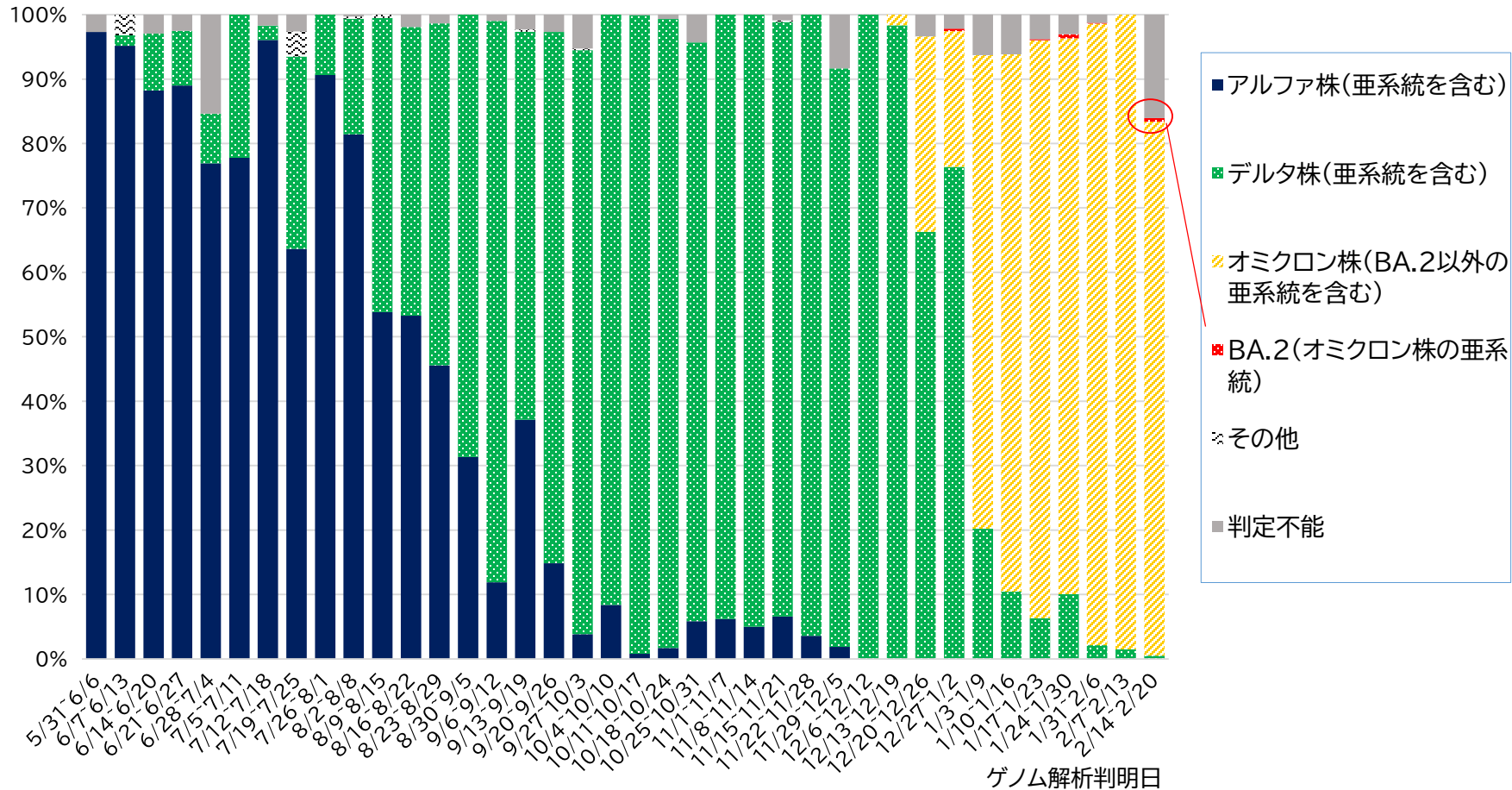
※1月26日以降における大阪市保健所の陽性者発生届のHER-SYS処理遅延件数について、精査済みの数値を計上。

※第六波における居住地調査中:28,811件は、全て「大阪市」と仮定し、大阪市居住地に計上。

変異株の検出状況(5/31~2/20)

※ゲノム解析はウイルス量の多い検体を対象にしており、全ての陽性検体を対象にはしていません。
 また、感染拡大状況下による検査数増加に伴い、大量に検査可能な検査機関ほど、ゲノム解析に時間がかかる傾向にあります。
 ※検査機関からの結果報告日毎に集計しており、当該週における発症日や検体採取日毎の発生状況を表しているわけではありません。

対象期間に検出されたpango lineage(新型コロナウイルスの国際的な系統分類命名法)別に集計



ゲノム解析判明日	公表日	検出例
12/30	12/29	1例
1/2	12/28	1例
1/21	1/26	1例
1/24	1/12 1/14	2例
2/1	1/10	1例
2/9	12/30	1例
2/14	1/19 2/17	2例
2/15	1/19	1例
2/16	2/15	1例
2/17	1/21	1例
2/18	2/12	1例

◆ 12月30日以降、府内でBA.2が13例検出。
 (この内、2月16日以降検出された3例は、海外渡航歴やBA.2陽性例との接触歴がない)

2 入院・療養状況

新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【重症】

◆ 重症病床運用率は、その他疾病で重症病床における入院加療中の患者数を含めると7割を超過しており、ひっ迫。別途、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続している重症者も6名存在。

● 確保病床と使用率

2月23日現在 **病床使用率37.5% (46.1%)**

病床数 640床 入院患者数 240人 (295人)

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数28床を含める

※ () の%、人数は、コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数55人を含めた場合の使用率と患者数

※上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者数6人 (計 重症者数246人)

● 運用病床と運用率

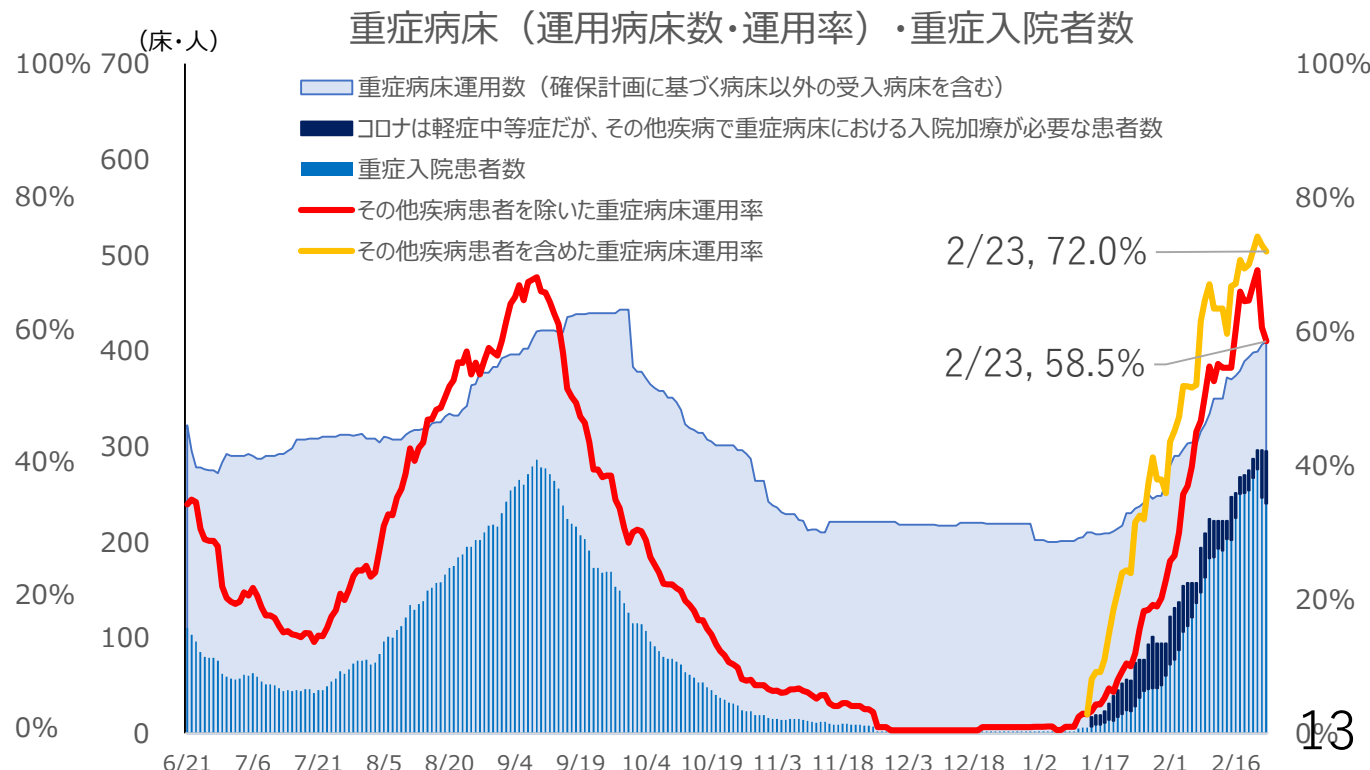
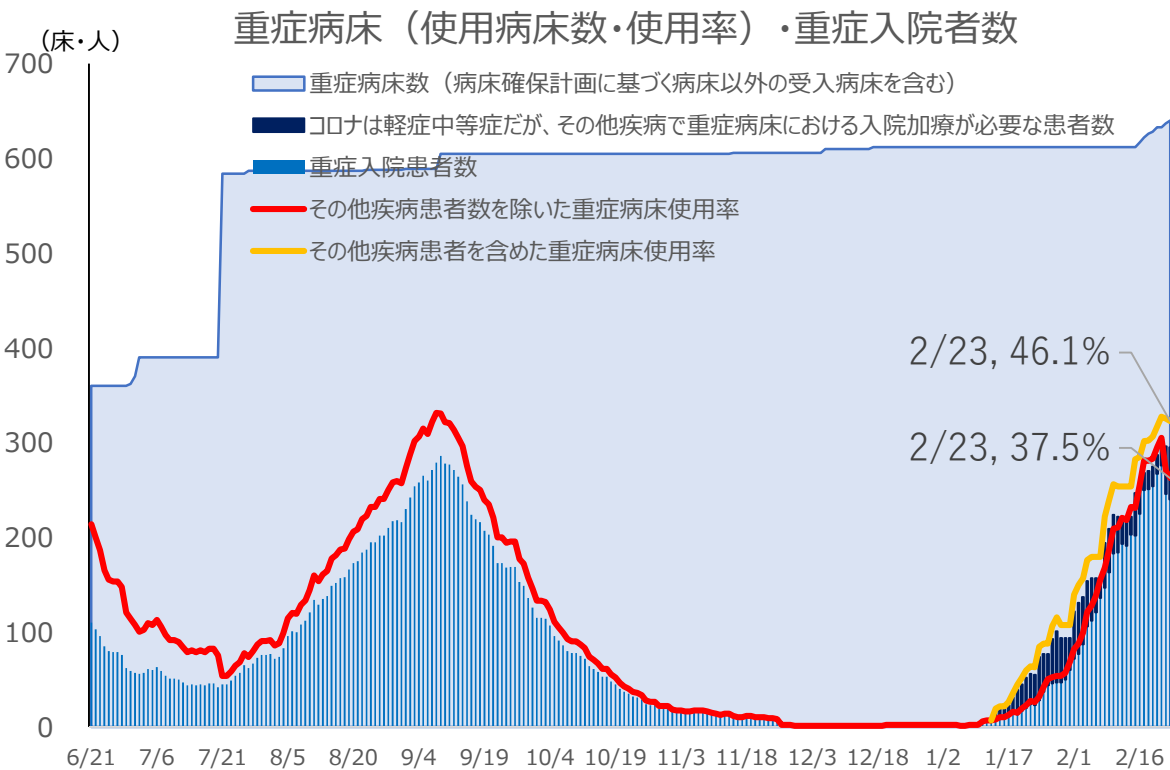
2月23日現在 **病床運用率58.5% (72.0%)**

運用病床数 410床 入院患者数 240人 (295人)

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数28床を含める

※ () の%、人数は、コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数55人を含めた場合の運用率と患者数

※上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者数6人 (計 重症者数246人)



新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【軽症中等症】

◆ 軽症中等症病床は使用率、運用率ともに8割を超過し、極めてひっ迫した状態が続いている。

※使用率・運用率ともに100%を超過した日については、医療機関休診により、退院状況の確認が困難であり、入院患者数に退院者が含まれていることによるもの

● 確保病床と使用率

2月23日現在 **病床使用率82.9%**

病床数 3,435床 入院患者数2,846人

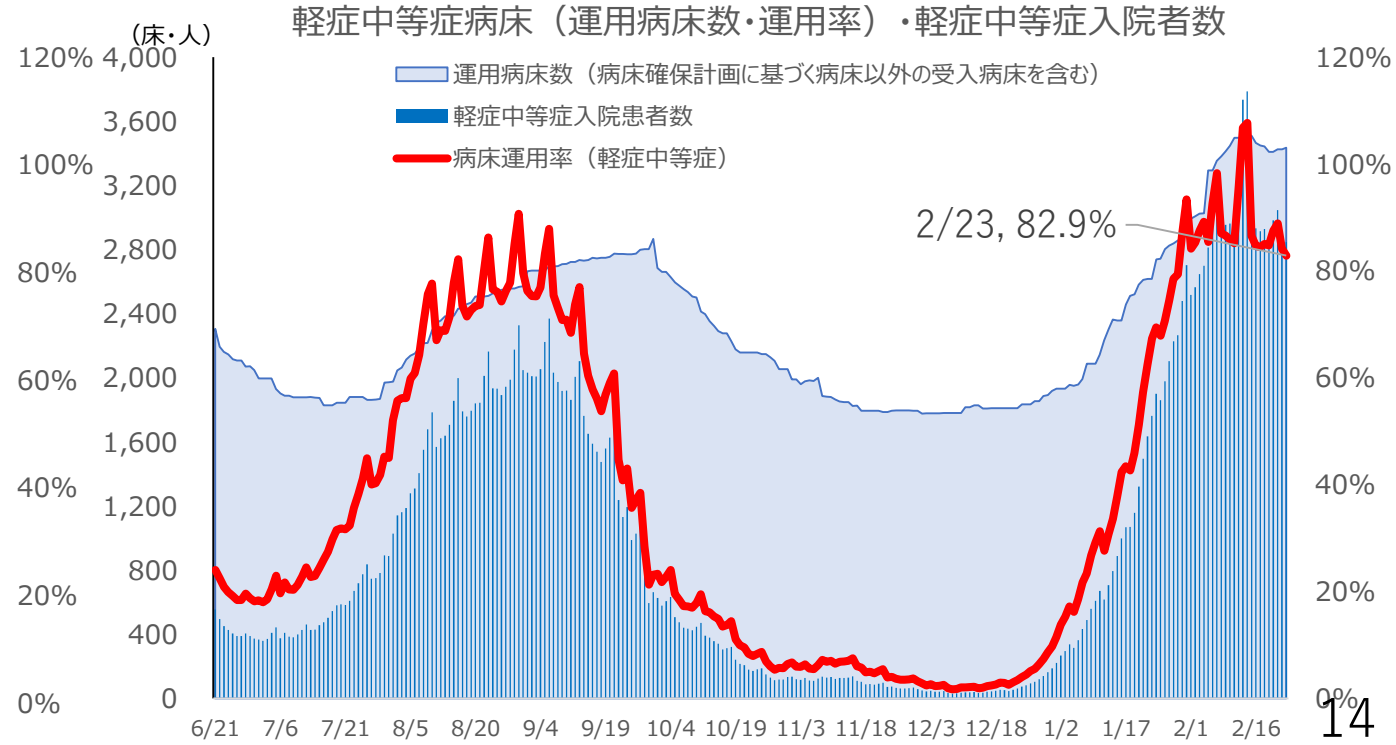
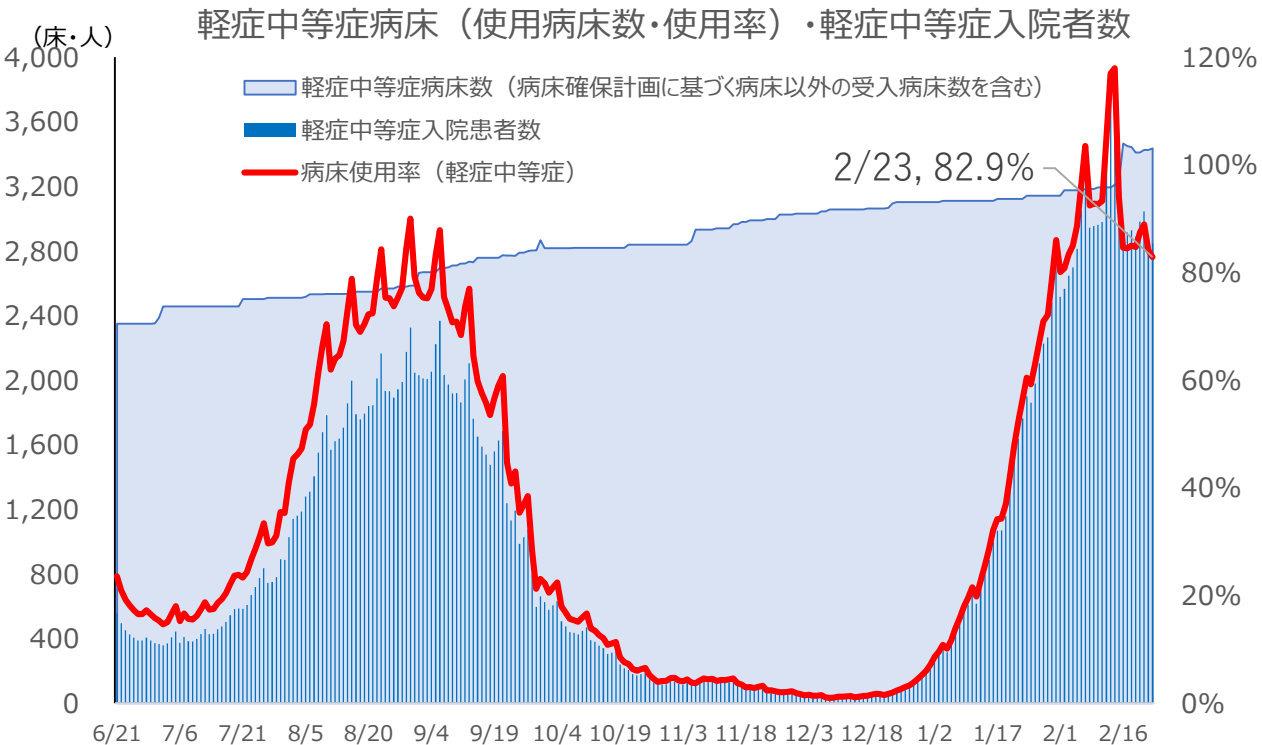
※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数175床を含める
 ※患者数には、コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数55人を含める。含めない場合は81.3%。
 ※対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者数6人を含む

● 運用病床と運用率

2月23日現在 **病床運用率82.9%**

運用病床数 3,435床 入院患者数2,846人

※左記に同じ



新型コロナウイルス感染症宿泊・自宅療養者、入院・療養等調整中者数

◆ 宿泊療養施設居室使用率、運用率ともに25.5%。

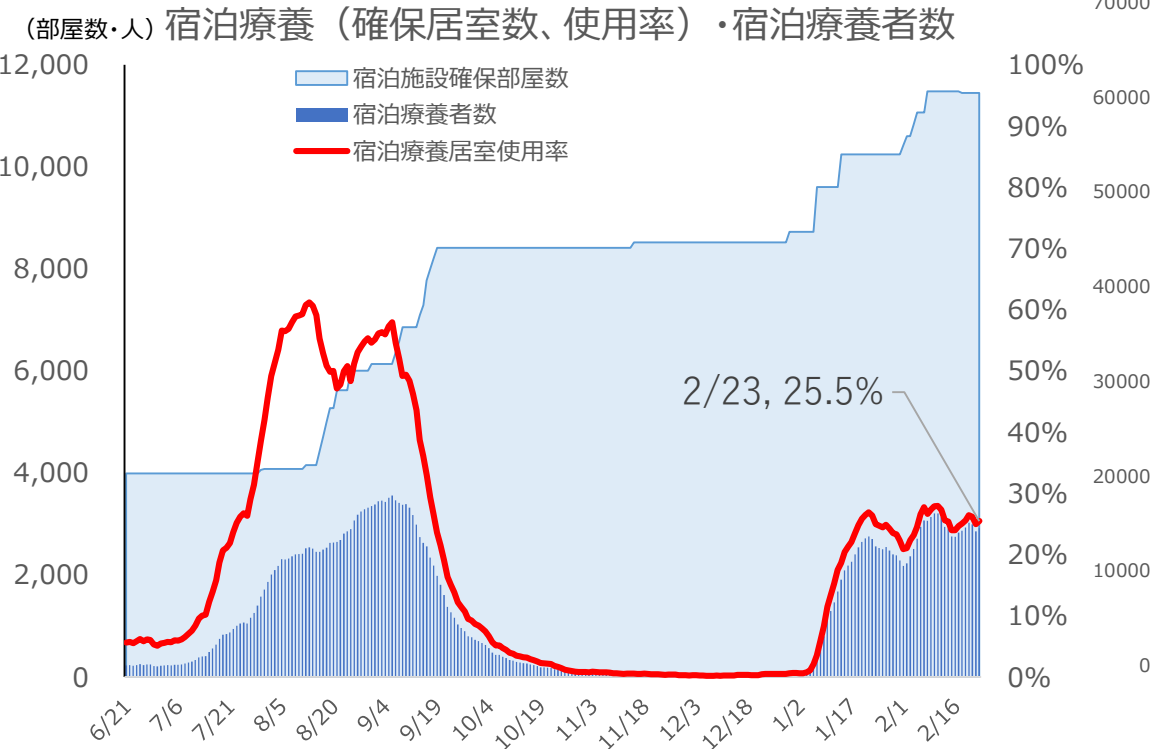
◆ 現在、自宅待機している方（自宅療養者数、入院・療養等調整中者数の合計）は、約118,000人。

● 宿泊療養施設使用状況

2月23日現在 **使用率25.5%**

居室使用数11,446室 療養者数 2,914人

運用率25.5%（運用居室数 11,446室）



宿泊療養施設のうち、臨時医療施設（150室）における療養者数は41人。

上記以外に、大阪コロナ大規模医療・療養センター（無症状・軽症者用）（1月31日運用開始） 2/23時点 使用率2.4%（24/1,000）、運用率2.9%（24/830）
うち、中等症患者用運用病床（30床）における中等症患者数は5人。

● 自宅療養者数と入院・療養等調整中の数

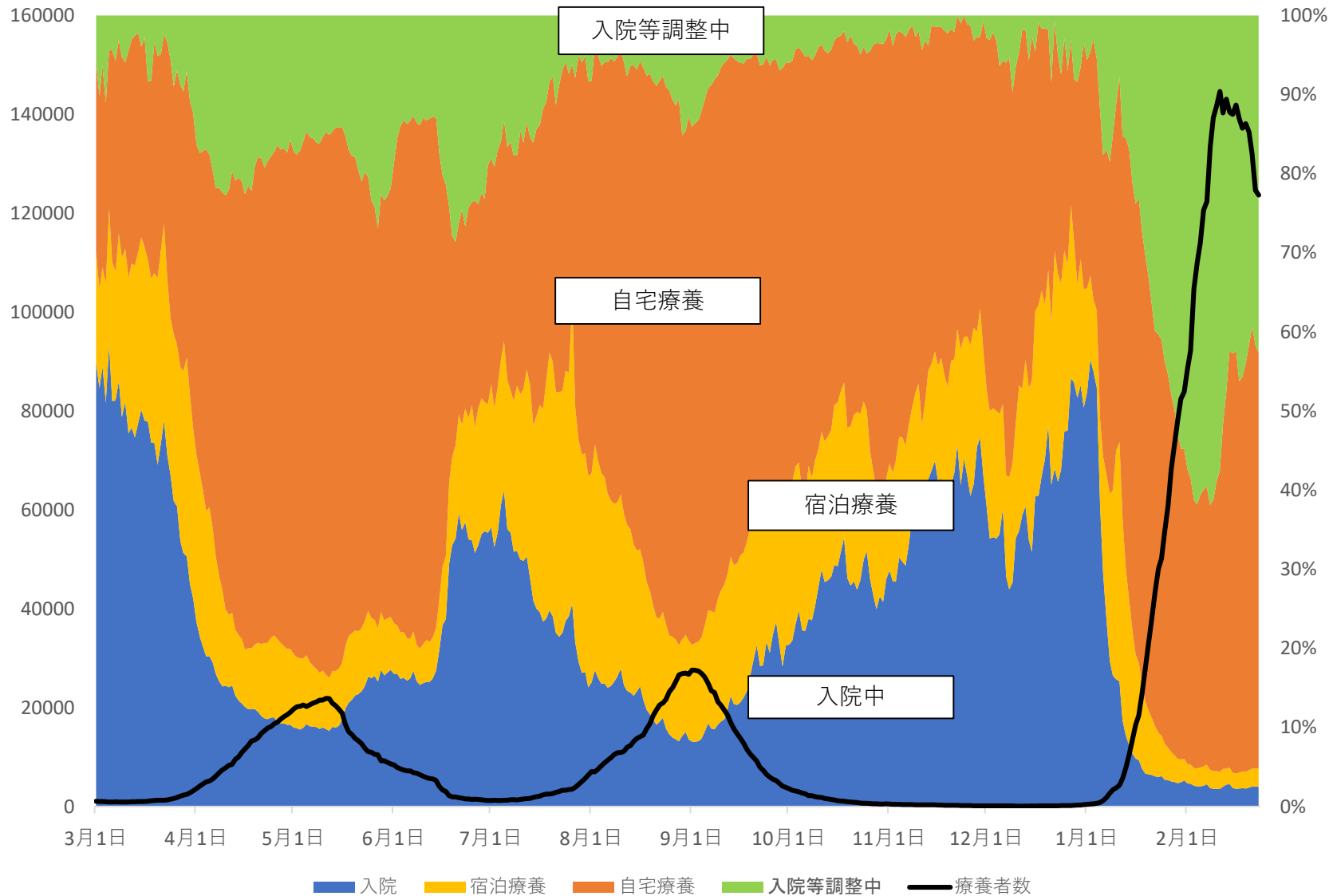
自宅療養者



入院・療養等調整中

入院・療養状況（2月23日時点）

◆ 入院率は、2月23日時点で2.5%。95%が自宅待機している方（自宅療養者数、入院・療養等調整中者数の合計）。



	第四波 (5/11)	第五波 (9/1)	2/23
入院等調整中	14.7%	14.1%	42.6%
自宅療養	68.6%	65.5%	52.5%
宿泊療養	6.8%	12.2%	2.4%
入院中	9.8%	8.2%	2.5%
療養者数	21,900人	27,587人	123,630人

第四波、第五波は、最大療養者数となった日

※ 1月5日に患者の全員入院対応。1月7日、1月25日に入院・宿泊療養対象を見直し

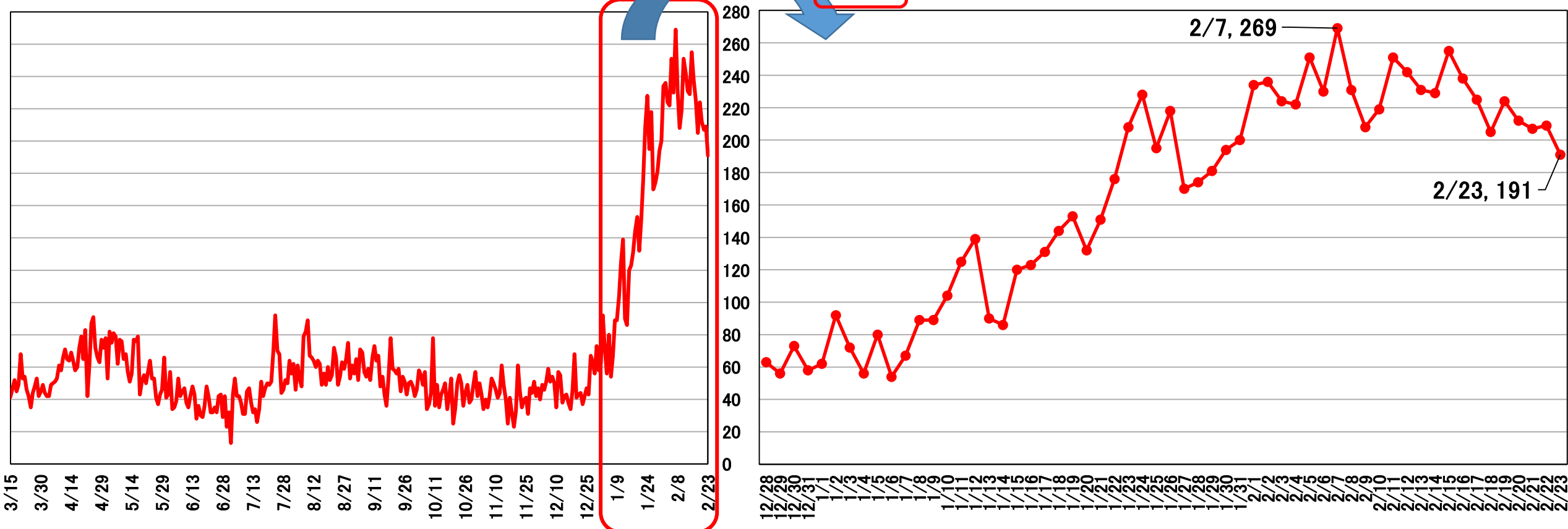
一般救急患者の搬送困難事案件数

◆ 年明け以降の急激な新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、府内の救急患者の搬送において、搬送困難事案(※)の件数はやや減少しつつあるが、一般救急医療は依然、ひっ迫。

(※)「医療機関への受入照会回数4回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案

大阪府（全圏域）における搬送困難事案件数（第四波以降）

拡大 大阪府（全圏域）における搬送困難事案件数（年末以降）



※府内の救急告示医療機関における院内感染や発熱外来受診患者の増加に伴い、救急診療制限等が生じ、搬送困難事案件数が増加しているものと考えられる。そのほか、新型コロナ患者の受入れや発熱外来の体制の確保等、診療体制の変更（人員配置等）による影響も考えられる。

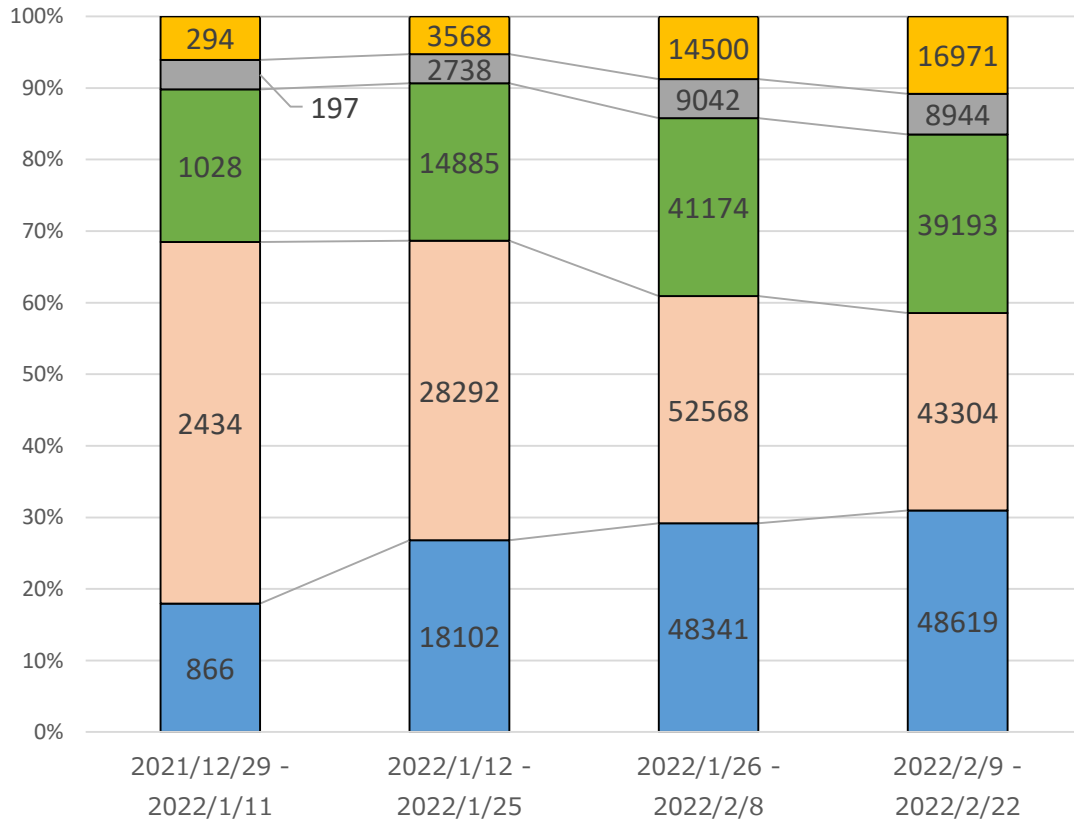
3 医療提供体制がひっ迫している 要因の分析について

年代別新規陽性者数の推移

◆ 1月中旬以降、70代以上の陽性者数が増加し、陽性者数に占める割合が増加。直近2週間では1割以上を占めている。

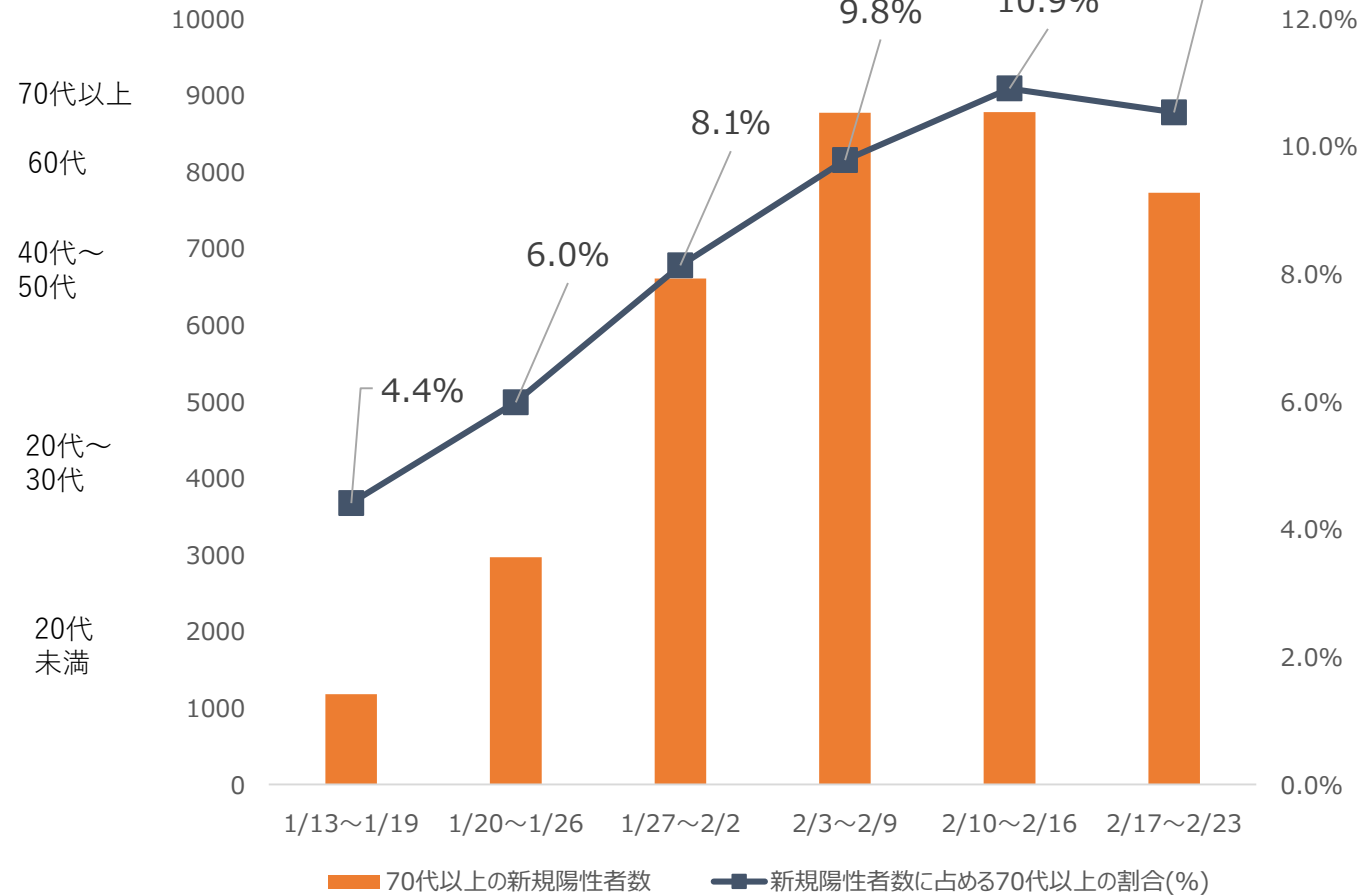
■ 第六波の新規陽性者の年代別割合（割合、2週間単位）

陽性者の年齢区分（大阪府 割合、2週間単位）



※調査中1,130件を除く

70代以上の新規陽性者数と
新規陽性者数に占める70代以上の割合

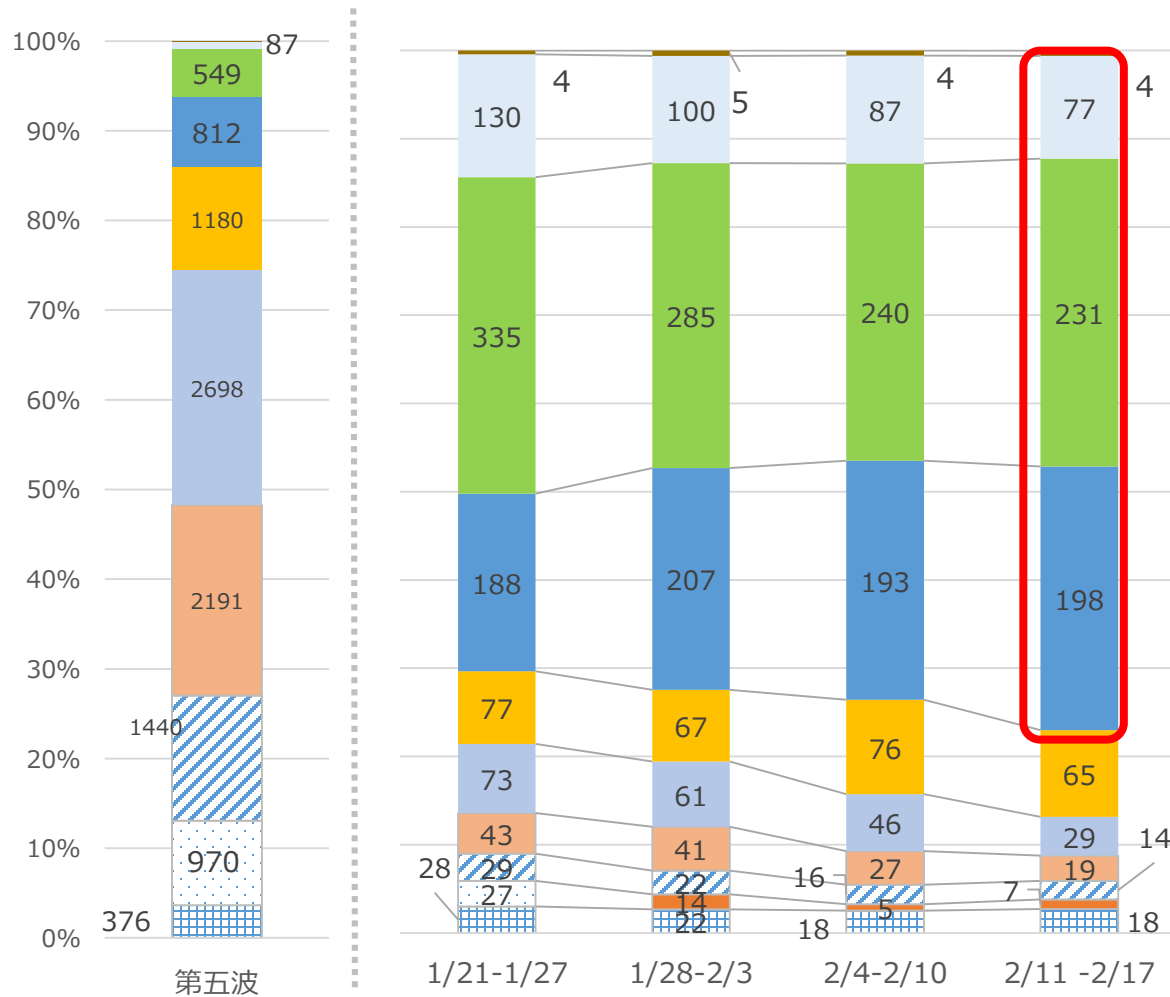


※1月26日以降における大阪市保健所の陽性者発生届のHER-SYS処理遅延件数について、精査済みの数値を計上。

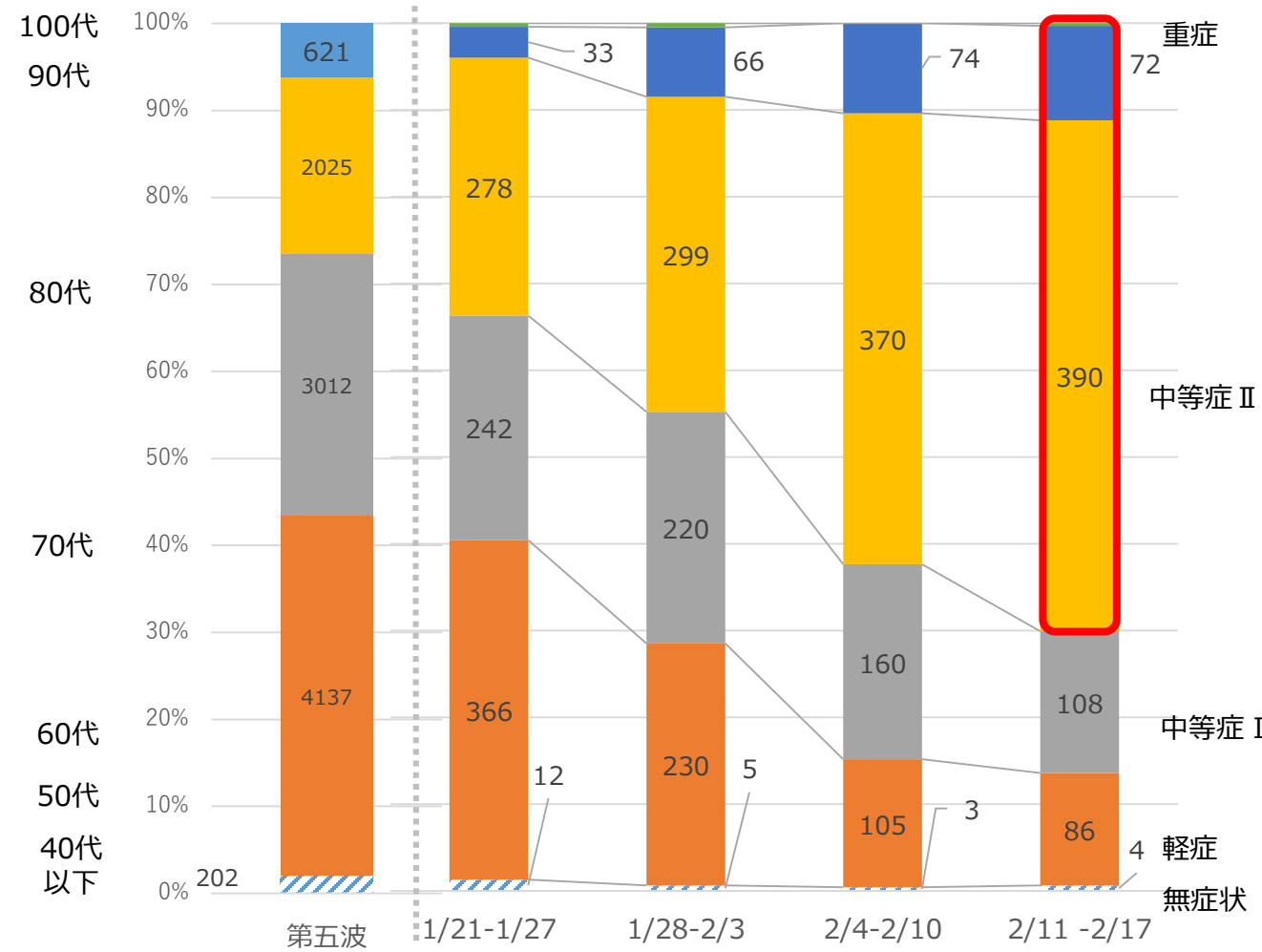
入院調整時の入院患者の年代割合や症状

- ◆ 入院調整時の入院患者の直近1週間の年代割合は、70代以上が約8割を占めている。
- ◆ 症状としては、中等症Ⅱ以上が約7割を占めている。

入院調整時の入院患者の年代別割合（第五波、1/21～2/17）



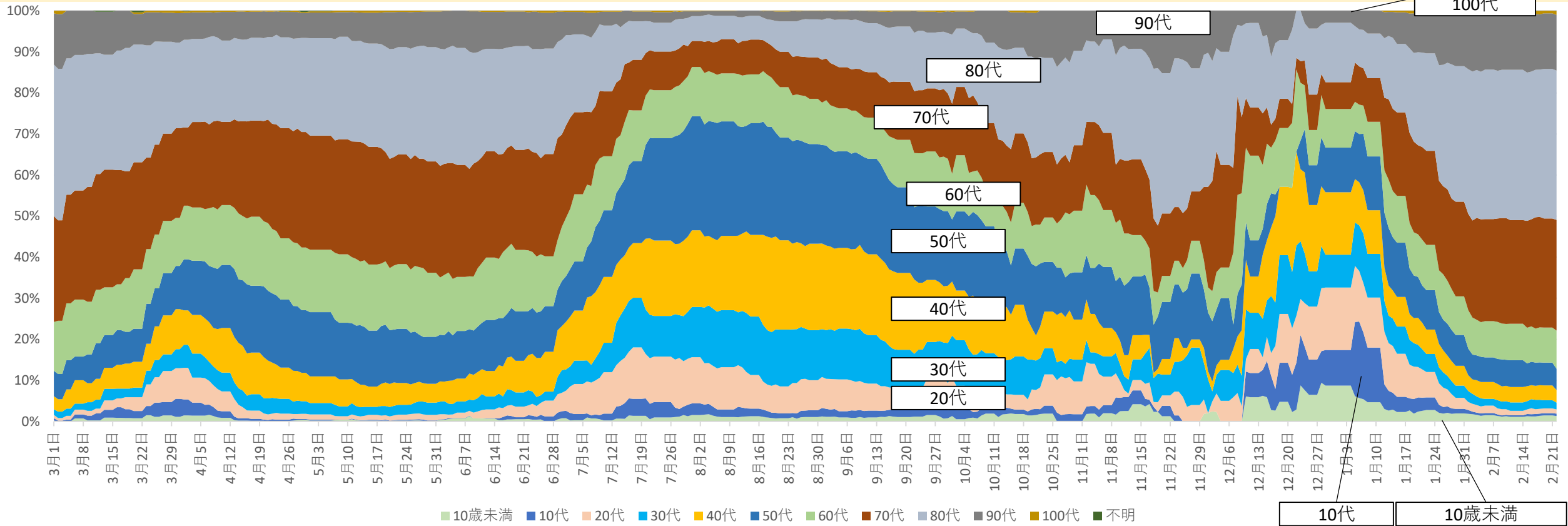
入院調整時の入院患者の症状（第五波、1/21～2/17）



※症状は入院調整時の患者の症状であり、入院後に症状が変化している可能性がある。※「大阪府療養者情報システム（O-CIS）」のデータに基づく。

軽症中等症受入医療機関における入院患者数の年代別割合（2月22日時点）

◆ 2月22日時点で、60代以上は87.1%、うち70代以上は約8割。
 医療提供体制が極めてひっ迫していた第四波と比較し、第六波は高齢者の入院患者の割合が多い。



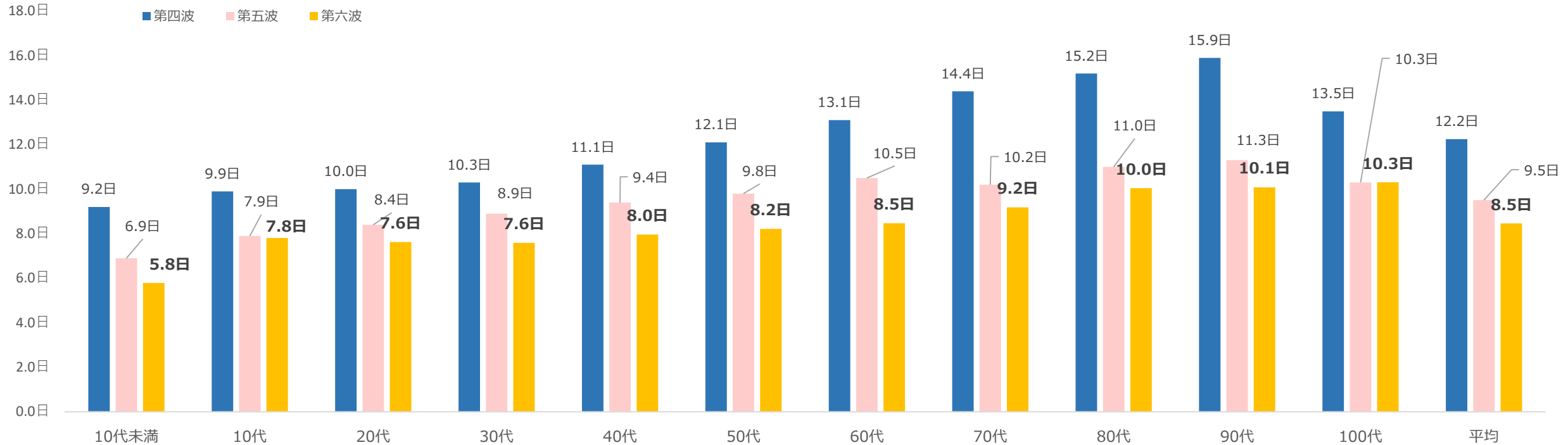
	第四波(5/12)	第五波(9/2)	2/22
60代未満	23.3%	66.3%	12.8%
60代以上	76.7%	33.7%	87.1%
(うち、70代以上)	(60.4%)	(23.0%)	(77.8%)

※ 1月5日に患者の全員入院対応、1月7日に入院・宿泊療養対象を見直し

第四波、第五波は、最低入院率となった日

第四波～第六波 軽症中等症病床における入院患者の平均入院日数（令和4年2月21日時点）

◆ 軽症中等症病床における入院患者の平均入院日数は、第四波、第五波よりは短いですが、2月10日時点と比べると、全体的にやや長くなり、特に70代以上の日数が長くなっている。



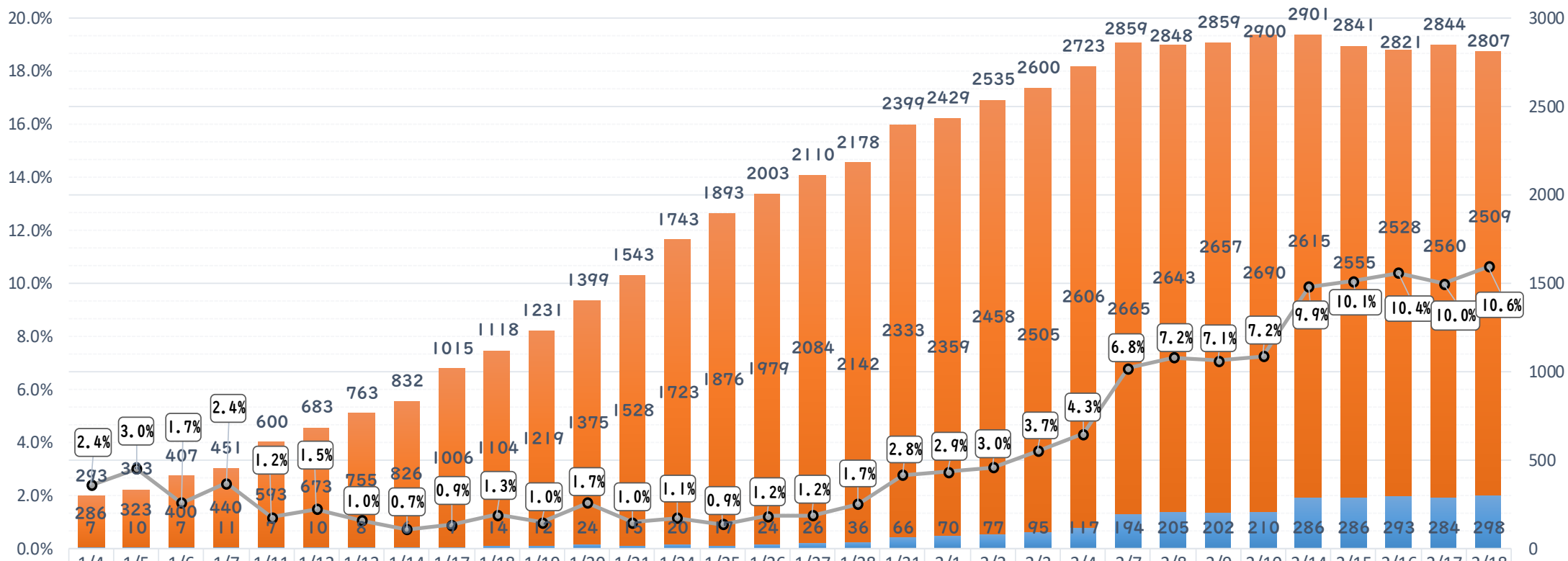
【第六波の軽症中等症病床における入院患者の平均入院日数】

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	平均
2/10時点	5.9日	8.1日	7.5日	7.4日	7.5日	7.8日	8.0日	8.4日	9.1日	9.4日	9.6日	8.1日
2/21時点	5.8日	7.8日	7.6日	7.6日	8.0日	8.2日	8.5日	9.2日	10.0日	10.1日	10.3日	8.5日

※第四波は、R3.3.1～3.6.20の間に陽性が判明した患者で退院済の者を計上 ※第五波は、R3.6.21～3.9.15の間に陽性が判明した患者で退院済の者を計上
 ※第六波は、R3.12.17～R4.2.21の間に陽性が判明した患者で退院済の者を計上
 ※陽性判明日が不明の患者は除く

軽症中等症病床における長期入院患者の状況（15日以上の入院患者の推移）

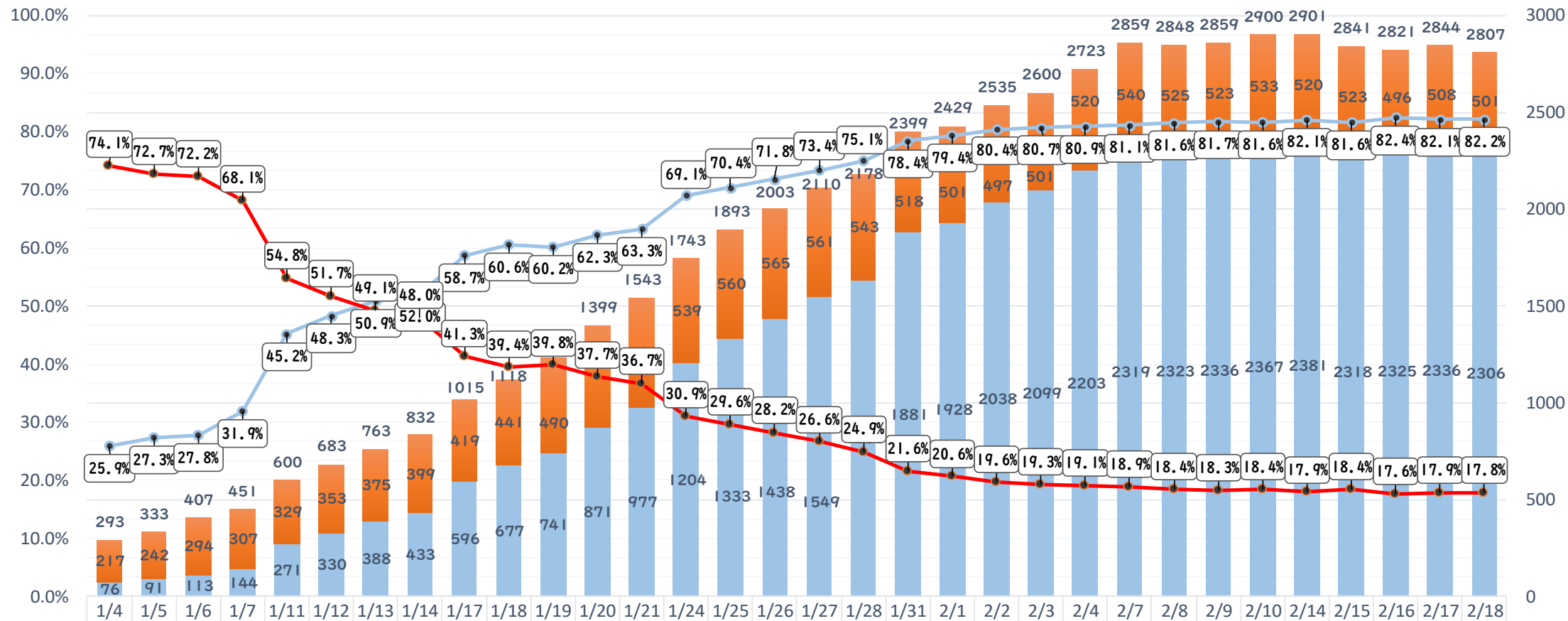
◆ 総入院患者に占める15日以上の患者の割合は、日々増加しており2月15日に10%に到達した後は、同水準で推移。



入院者数	293	333	407	451	600	683	763	832	1015	1118	1231	1399	1543	1743	1893	2003	2110	2178	2399	2429	2535	2600	2723	2859	2848	2859	2900	2901	2841	2821	2844	2807
14日以内	286	323	400	440	593	673	755	826	1006	1104	1219	1375	1528	1723	1876	1979	2084	2142	2333	2359	2458	2505	2606	2665	2643	2657	2690	2615	2555	2528	2560	2509
15日以上	7	10	7	11	7	10	8	6	9	14	12	24	15	20	17	24	26	36	66	70	77	95	117	194	205	202	210	286	286	293	284	298
割合（15日以上）	2.4%	3.0%	1.7%	2.4%	1.2%	1.5%	1.0%	0.7%	0.9%	1.3%	1.0%	1.7%	1.0%	1.1%	0.9%	1.2%	1.2%	1.7%	2.8%	2.9%	3.0%	3.7%	4.3%	6.8%	7.2%	7.1%	7.2%	9.9%	10.1%	10.4%	10.0%	10.6%

軽症中等症病床における入院患者の年代について

- ◆ 1月4日以降、総入院患者に占める65歳以上の患者の割合は、日々増加している。
- ◆ 65歳以上の高齢者の入院患者数が8割以上となり、長期入院患者の割合の比例して増加。

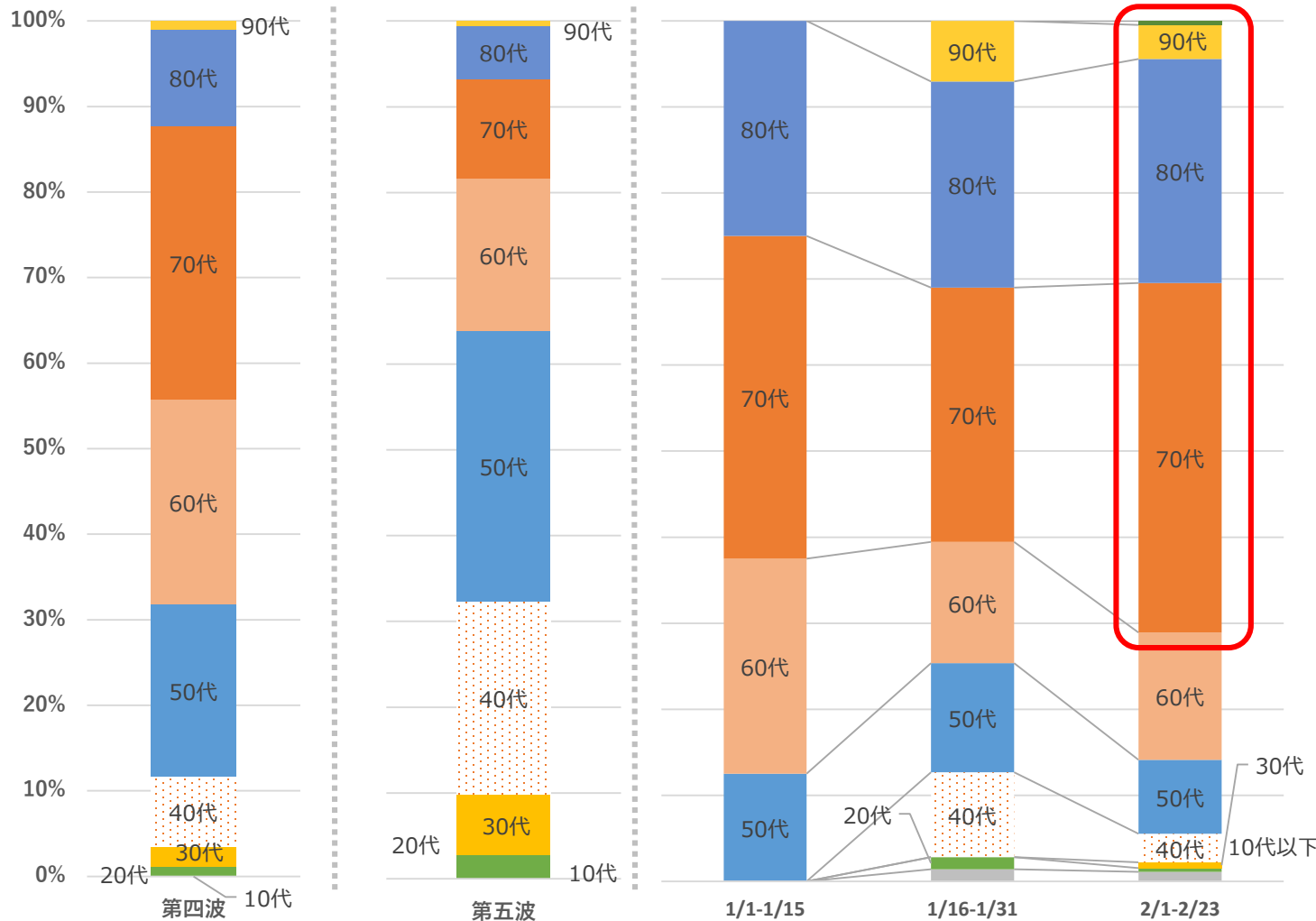


入院者数	293	333	407	451	600	683	763	832	1015	1118	1231	1399	1543	1743	1893	2003	2110	2178	2399	2429	2535	2600	2723	2859	2848	2859	2900	2901	2841	2821	2844	2807
65歳以下	217	242	294	307	329	353	375	399	419	441	490	528	566	539	560	565	561	543	518	501	497	501	520	540	525	523	533	520	523	496	508	501
65歳以上	76	91	113	144	271	330	388	433	596	677	741	871	977	1204	1333	1438	1549	1635	1881	1928	2038	2099	2203	2319	2323	2336	2367	2381	2318	2325	2336	2306
割合 (65歳以上)	25.9	27.3	27.8	31.9	45.2	48.3	50.9	52.0	58.7	60.6	60.2	62.3	63.3	69.1	70.4	71.8	73.4	75.1	78.4	79.4	80.4	80.7	80.9	81.1	81.6	81.7	81.6	82.1	81.6	82.4	82.1	82.2
割合 (65歳未満)	74.1	72.7	72.2	68.1	54.8	51.7	49.1	48.0	41.3	39.4	39.8	37.7	36.7	30.9	29.6	28.2	26.6	24.9	21.6	20.6	19.6	19.3	19.1	18.9	18.4	18.3	18.4	17.9	18.4	17.6	17.9	17.8

年代別新規重症者の内訳（公表日別）（2月23日時点）

◆ 2月の新規重症者の年代別内訳は、70代以上が占める割合が約7割。

年代別新規重症者の内訳割合（第四波、第五波、1/1～2/23）



	第四波 (R3.3/1～ 6/20)	第五波 (R3.6/21～ 12/16)	第六波 (R3.12/17～)
新規陽性者数 累計	55,318人	100,891人	407,931人
新規重症者数	1,735人	1,024人	534人
30代以下	61人 (3.5%)	101人 (9.9%)	13人 (2.4%)
40・50代の 割合	491人 (28.3%)	553人 (54.0%)	72人 (13.5%)
60代以上の 割合	1,183人 (68.2%)	370人 (36.1%)	449人 (84.1%)
(うち、70代 以上の割合)	768人 (44.3%)	188人 (18.4%)	370人 (69.3%)

※新規重症者を公表日別に集計しているため、陽性判明日別に集計した各波の重症者数と人数が一致しない場合がある。
 ※第六波の各年代の割合は、2月23日時点までの新規重症者数に基づく。今後、新規重症者の推移により変動。

陽性者が複数発生している高齢者施設・障がい者施設（入所）での医療体制について

【令和4年2月21日時点】

※府内保健所に聞き取った内容であり、
記入が不十分のものも含まれている。

陽性者が複数発生している 施設数	493施設（うち保健所の健康観察 424施設）	
	うち連携医療機関のある施設	284施設
入所者における陽性者	3,970人	
	うち入院者数	795人
	うち施設内療養者数	3,175人

施設数	医療支援		
493施設	医療介入があった施設	166施設	
		連携医療機関での治療実施数（往診も含む）	89施設
		連携医療機関以外の往診あり	35施設
		連携医療機関、連携医療機関以外両方の往診あり	2施設
		確認中	40施設
	医療介入がなかった施設	104施設	
		治療の対象者がいない	81施設
		確認中	23施設
	保健所回答なし	223施設	

4 重症者・死亡例の分析

年代別重症化率及び死亡率の推移（陽性判明日別）（令和4年2月17日時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（令和3年4/6～7/12、令和4年2/16～）や他府県で受け入れている重症者（令和3年4/22～5/10）を含む。

重症化率	第一波 (R2.1/29-6/13)			第二波 (R2.6/14-10/9)			第三波 (R2.10/10-R3.2/28)			第四波 (R3.3/1-6/20)			第五波 (R3.6/21-12/16)			第六波（2/17時点） (R3.12/17-)		
	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率
19歳以下	79	1	1.3%	839	0	0.0%	3704	1	0.0%	6629	2	0.0%	22424	3	0.0%	100512	5	0.00%
20・30代	654	7	1.1%	4420	3	0.1%	11733	16	0.1%	19778	61	0.3%	44077	99	0.2%	113650	6	0.01%
40・50代	564	36	6.4%	2207	52	2.4%	9845	184	1.9%	15845	494	3.1%	26463	554	2.1%	84681	62	0.07%
60代以上	489	103	21.1%	1805	177	9.8%	10782	947	8.8%	12950	1200	9.3%	7821	368	4.7%	48645	358	0.74%
総計	1786	147	8.2%	9271	232	2.5%	36064	1148	3.2%	55318	1757	3.2%	100891	1024	1.0%	348470	431	0.12%

死亡率	第一波 (R2.1/29-6/13)			第二波 (R2.6/14-10/9)			第三波 (R2.10/10-R3.2/28)			第四波 (R3.3/1-6/20)			第五波 (R3.6/21-12/16)			第六波（2/17時点） (R3.12/17-)		
	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率
19歳以下	79	0	0.0%	839	0	0.0%	3704	0	0.0%	6629	0	0.0%	22424	1	0.0%	100512	0	0.00%
20・30代	654	0	0.0%	4420	0	0.0%	11733	1	0.0%	19778	7	0.0%	44077	4	0.0%	113650	0	0.00%
40・50代	564	6	1.1%	2207	4	0.2%	9845	17	0.2%	15845	88	0.6%	26464	63	0.2%	84681	13	0.02%
60代以上	489	81	16.6%	1805	138	7.6%	10782	920	8.5%	12950	1444	11.2%	7820	290	3.7%	48645	432	0.89%
総計	1786	87	4.9%	9271	142	1.5%	36064	938	2.6%	55318	1539	2.8%	100891	358	0.4%	348470	445	0.13%

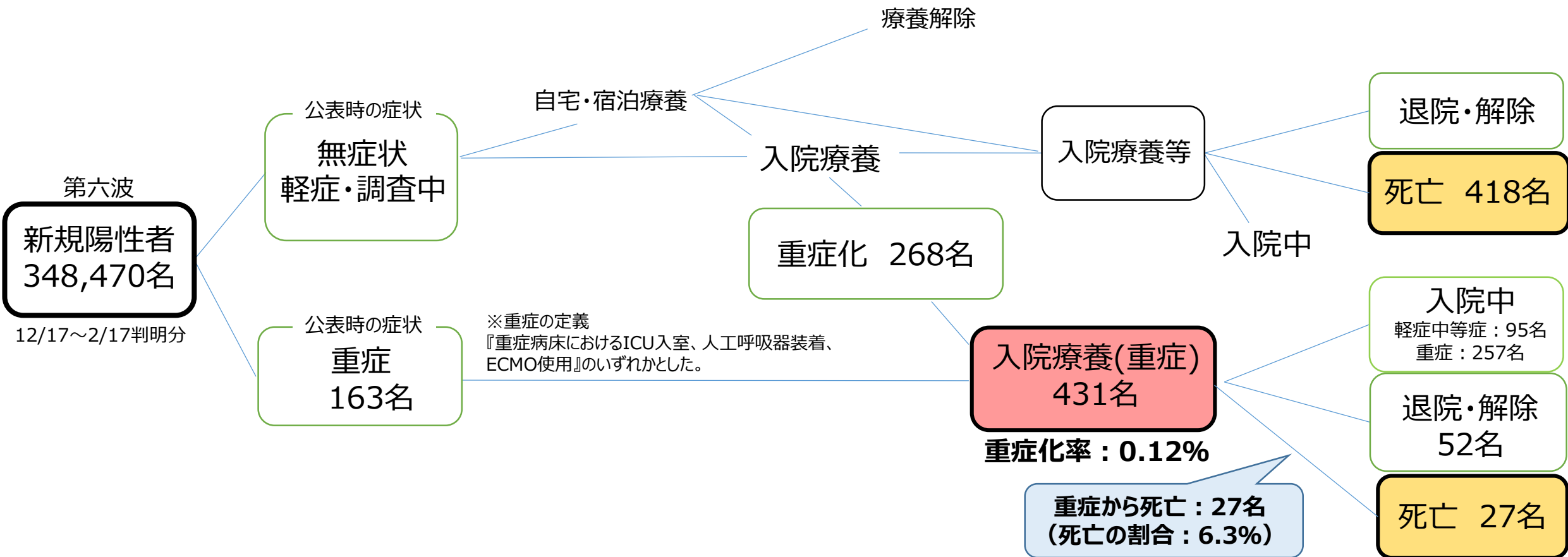
※死亡率：新規陽性者数に占める死亡者の割合。

※重症化率及び死亡率は2月17日判明時点までの重症及び死亡者数に基づく。今後、重症及び死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

【第六波】重症及び死亡例のまとめ（令和4年2月17日判明時点）

※死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

重症及び死亡例の経過



全国と大阪府の陽性者数と死亡者数（死亡率）の比較

2022/2/17判明時点

	累計 陽性者数	第一波	第二波	第三波	第四波	第五波	第六波	死亡者数 (死亡率)	第一波	第二波	第三波	第四波	第五波	第六波
		2020年 6/13まで	6/14~ 10/9	10/10~ 2/28	3/1~ 6/20	6/21~ 12/16	12/17~ 2/17		2020年 6/13まで	6/14~ 10/9	10/10~ 2/28	3/1~ 6/20	6/21~ 12/16	12/17~ 2/17
大阪府	551,800	1,786	9,271	36,064	55,318	100,891	348,470	3,509 (0.6%)	87 (4.9%)	142 (1.5%)	938 (2.6%)	1,539 (2.8%)	358 (0.4%)	445 (0.13%)
全国	4,135,404	17,179	70,012	343,342	350,398	943,478	2,410,995	20,946 (0.5%)	925 (5.4%)	698 (1.0%)	6,262 (1.8%)	6,510 (1.9%)	3,973 (0.4%)	2,578 (0.11%)

死亡：445名

死亡率:0.13%

※重症率及び死亡率は2月17日判明時点までの重症及び死亡者数に基づき、今後、重症及び死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

※チャーター機帰国者、クルーズ船乗客、空港検疫は含まれていない。全国は厚生労働省公表資料（2/17の国内の発生状況）より集計。

【第四波以降】重症者のまとめ（令和4年2月17日時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（令和3年4/6～7/12、令和4年2/16～）や他府県で受け入れている重症者（令和3年4/22～5/10）を含む。

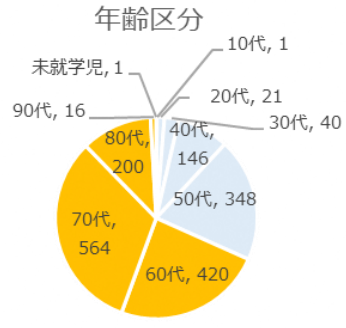
第四波（3/1～6/20）

新規陽性者数	55,318
(再掲)40代以上(割合)	28,795(52.1%)
(再掲)60代以上(割合)	12,950(23.4%)
重症者数（※）	1,757
死亡	399
退院・解除	1,358
帰	
入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

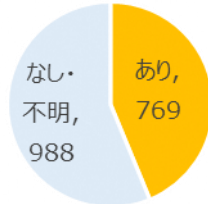
※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が23例あり

■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.9%(1,694/28,795)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：9.3%(1,200/12,950)
 全陽性者数に占める重症者の割合：3.2%(1,757/55,318)



基礎疾患



平均年齢：60.9歳
 60代以上の割合：68.3%
 70代以上の割合：44.4%
 80代以上の割合：12.3%

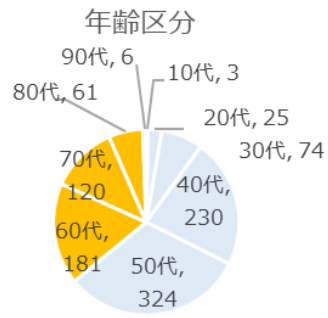
第五波（6/21～12/16）

新規陽性者数	100,891
(再掲)40代以上(割合)	34,284(34.0%)
(再掲)60代以上(割合)	7,821(7.8%)
重症者数	1,024
死亡	142
退院・解除	882
帰	
入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

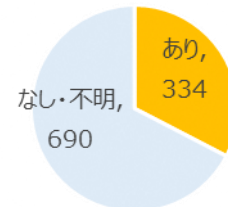
※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が5例あり

■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：2.7%(922/34,284)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：4.7%(368/7,821)
 全陽性者数に占める重症者の割合：1.0%(1,024/100,891)



基礎疾患



平均年齢：51.6歳
 60代以上の割合：35.9%
 70代以上の割合：18.3%
 80代以上の割合：6.5%

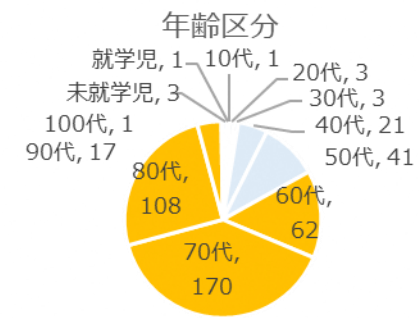
第六波（12/17以降）

新規陽性者数	348,470
(再掲)40代以上(割合)	133,326(38.3%)
(再掲)60代以上(割合)	48,645(14.0%)
重症者数	431
死亡	27
退院・解除	52
帰	
入院中（軽症）	95
入院中（重症）	257

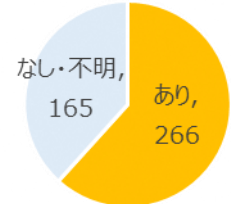
※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が4例あり

■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：0.3%(420/133,326)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：0.7%(358/48,645)
 全陽性者数に占める重症者の割合：0.12%(431/348,470)



基礎疾患



平均年齢：67.7歳
 60代以上の割合：83.1%
 70代以上の割合：68.7%
 80代以上の割合：29.2%

※重症率は2月17日判明時点までの重症者数に基づき。今後、重症者数・新規陽性者数の推移により変動

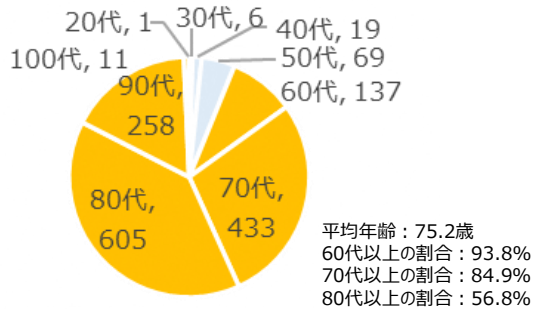
第四波（3/1～6/20）

新規陽性者数	55,318
(再掲)40代以上(割合)	28,795(52.1%)
(再掲)60代以上(割合)	12,950(23.4%)
死亡者数	1,539

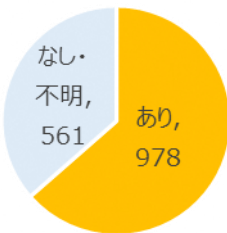
■死亡例の割合

40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：5.3%(1,532/28,795)
 60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：11.2%(1,444/12,950)
 全陽性者数に占める死亡例の割合：2.8%(1,539/55,318)

年齢区分



基礎疾患



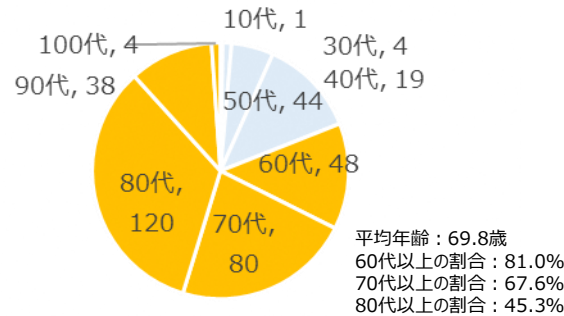
第五波（6/21～12/16）

新規陽性者数	100,891
(再掲)40代以上(割合)	34,284(34.0%)
(再掲)60代以上(割合)	7,821(7.8%)
死亡者数	358

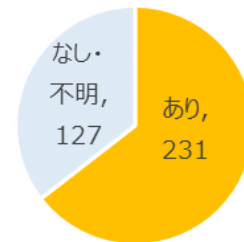
■死亡例の割合

40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：1.0%(353/34,284)
 60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：3.7%(290/7,821)
 全陽性者数に占める死亡例の割合：0.4%(358/100,891)

年齢区分



基礎疾患



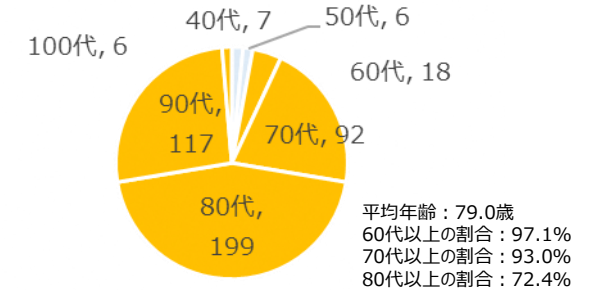
第六波（12/17以降）

新規陽性者数	348,470
(再掲)40代以上(割合)	133,326(38.3%)
(再掲)60代以上(割合)	48,645(14.0%)
死亡者数	445

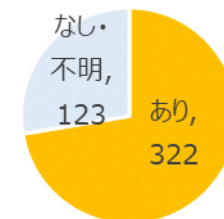
■死亡例の割合

40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：0.33%(445/133,326)
 60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：0.89%(432/48,645)
 全陽性者数に占める死亡例の割合：0.13%(445/348,470)

年齢区分



基礎疾患

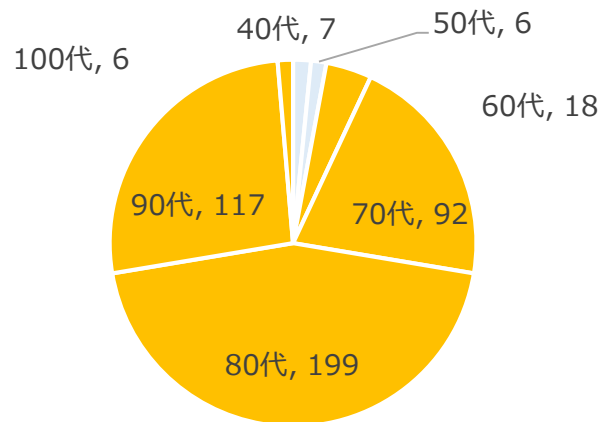


※死亡率は2月17日判明時点までの死亡者数に基づく。今後、死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

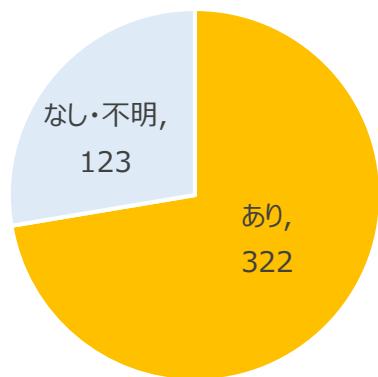
【第六波】死亡例の年代別推定感染経路及び死因

◆ 死亡例445例の推定感染経路の約半数は施設関連。

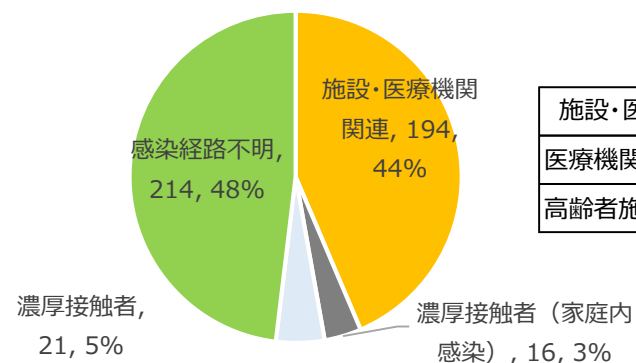
年齢区分



基礎疾患



死亡例445例の推定感染経路



施設・医療機関関連(194名)の内訳	
医療機関関連	98
高齢者施設関連	96

	施設・医療機関関連	濃厚接触者 (家庭内感染)	濃厚接触者	感染経路不明	総計
40代			1	6	7
50代	1	1	1	3	6
60代	6			12	18
70代	39	5	2	46	92
80代	84	5	10	100	199
90代	60	5	7	45	117
100代	4			2	6
総計	194	16	21	214	445

※保健所より報告があった内容に基づいて分析。
 施設・医療機関関連には、クラスター公表されていない施設や医療機関を含む。
 また、感染経路不明者の中には院内・施設内感染の可能性のある者や濃厚接触者が含まれる。

【第六波】死亡例の年代別推定感染経路及び死因

- ◆ 直接死因としては、新型コロナ関連が271例（死亡例のうち約6割）。
 コロナ以外が174例（うち、108例は間接死因がコロナ関連、66例は間接死因がコロナ以外）

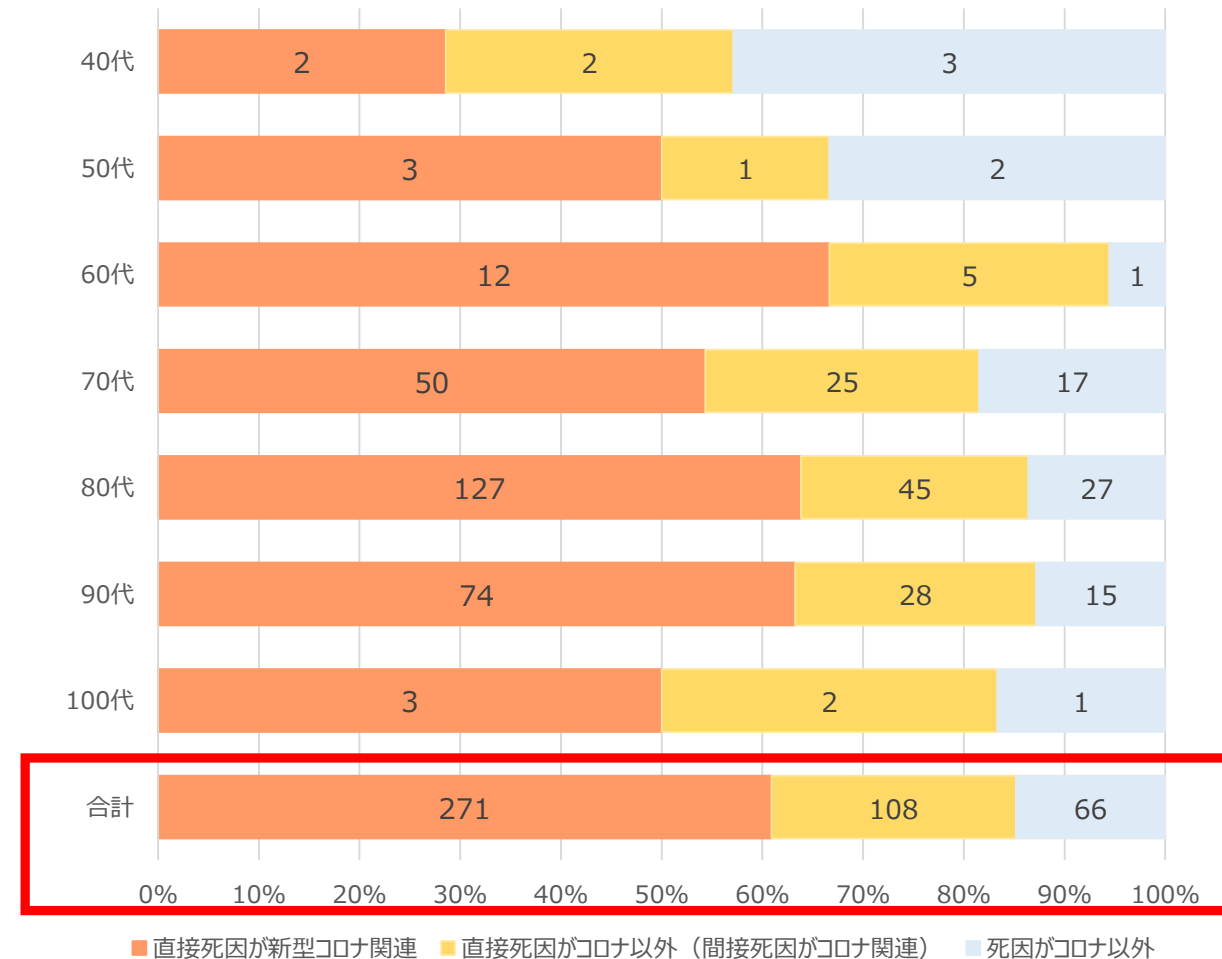
【死亡例445例（※1）の死因】

	死亡者数	【公表内容】 新型コロナ関連 死亡	直接死因			
			新型コロナ 関連	コロナ以外 ※2	間接死因が	
					コロナ関連	コロナ以外
40代	7	4	2	5	2	3
50代	6	4	3	3	1	2
60代	18	17	12	6	5	1
70代	92	75	50	42	25	17
80代	199	172	127	72	45	27
90代	117	102	74	43	28	15
100代	6	5	3	3	2	1
合計	445	379	271	174	108	66

※1：死後に陽性が判明した者41名を含む

※2：【主な死因の一例】誤嚥性肺炎、老衰、心不全等

死亡例445例の死因



【第六波】重症及び死亡例のまとめ（令和4年2月17日判明時点）

◆重症例のうち、22.3%はワクチンを2回接種以上済。死亡例のうち、29.7%がワクチンを2回以上接種済。

※ワクチン接種状況については、保健所業務の更なる重点化により、保健所の疫学調査で確認できた範囲での情報及びHER-SYS入力情報に基づく。

【重症例の変異株結果とワクチン接種状況】

	合計	ワクチン接種状況		
		3回接種済	2回接種済	1回接種のみ・接種なし・不明
オミクロン株	24	0	6	18
L452R陰性	74	0	18	56
L452R陽性	10	0	5	5
検査中・検査不可※1	323	3	64	256
総計	431	3	93	335

【死亡例の変異株結果とワクチン接種状況】

※重症例431例のうち、27例は死亡のため重複あり

	合計	ワクチン接種状況		
		3回接種済	2回接種済	1回接種のみ・接種なし・不明
オミクロン株	7	0	4	3
L452R陰性	32	0	13	19
L452R陽性	3	0	2	1
その他※2	2	0	1	1
検査中・検査不可※1	401	5	107	289
総計	445	5	127	313

※1：判定不能含む。 ※2：初発患者がL452R陽性のため検査未実施：2名

【第六波】重症例の分析（年代毎の基礎疾患と重症化率）（令和4年2月17日判明時点）

- ◆ 第六波（12/17～2/17判明分まで）の全体の重症化率（0.12％）と比較した場合、基礎疾患がある者は重症化率が高い。また、基礎疾患がない場合でも、60代以上の者は重症化率が高い。
- ◆ 診断時当初に無症状・軽症であった場合においても、基礎疾患がある者や基礎疾患がない70代以上の者は重症化率が全体の重症化率よりも高い。

年代別・基礎疾患の有無別重症化率

（※P38表1参照）

年代	未就学児	就学児	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	年代調査中	合計
全体の重症化率	0.01%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.04%	0.12%	0.34%	1.12%	1.00%	0.42%	0.48%	0.00%	0.12%
基礎疾患あり(重症化率)	4.55%	3.70%	0.77%	0.37%	0.40%	0.94%	1.25%	2.14%	3.71%	3.38%	1.63%	4.00%	0.00%	2.33%
基礎疾患なし(重症化率)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.02%	0.06%	0.13%	0.56%	0.41%	0.18%	0.00%	0.00%	0.05%

全体の重症化率（0.12％）より高いものを網掛けで表記

公表時の症状が無症状・軽症・調査中だった者のうち、重症化した者の年代別・基礎疾患の有無別重症化率

（※P38表2参照）

年代	未就学児	就学児	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	年代調査中	合計
公表時症状が無症状・軽症・調査中(重症化率)	0.01%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.03%	0.09%	0.18%	0.67%	0.66%	0.28%	0.48%	0.00%	0.08%
基礎疾患あり(重症化率)	2.33%	0.00%	0.00%	0.37%	0.20%	0.69%	0.93%	1.21%	2.29%	2.37%	0.89%	4.00%	0.00%	1.49%
基礎疾患なし(重症化率)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.04%	0.06%	0.32%	0.24%	0.15%	0.00%	0.00%	0.03%

全体の重症化率（0.12％）より高いものを網掛けで表記

【第六波】死亡例の分析（年代毎の基礎疾患と死亡率）（令和4年2月17日判明時点）

死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

- ◆ 第六波（12/17～2/17判明分まで）の全体の死亡率（0.13%）と比較した場合、基礎疾患がある40代以上の者は死亡率が高い。また、基礎疾患がない場合でも、70代以上の者は死亡率が高い。
- ◆ 重症例において、基礎疾患ある50代以上の者や基礎疾患がない60代以上の者は死亡率が全体の死亡率よりも高い。

年代別・基礎疾患の有無別死亡率

（※P38表3参照）

年代	未就学児	就学児	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	年代調査中	合計
全体(死亡率)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.02%	0.01%	0.10%	0.60%	1.85%	2.92%	2.86%	0.00%	0.13%
基礎疾患あり(死亡率)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.26%	0.27%	0.52%	2.63%	6.94%	12.28%	8.00%	0.00%	2.82%
基礎疾患なし(死亡率)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.00%	0.05%	0.16%	0.60%	1.02%	2.16%	0.00%	0.04%

全体の死亡率（0.13%）より高いものを網掛けで表記

重症例431例の年代別・基礎疾患の有無別死亡率

（※P39表4参照）

重症例431例の死亡率	未就学児	就学児	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	年代調査中	合計
重症例431例(死亡率)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	2.44%	4.84%	6.47%	8.33%	17.65%	0.00%	0.00%	6.26%
基礎疾患あり(死亡率)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	4.35%	4.88%	7.00%	9.72%	18.18%	0.00%	0.00%	7.14%
基礎疾患なし(死亡率)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	4.76%	5.71%	5.56%	16.67%	0.00%	0.00%	4.85%

全体の死亡率（0.13%）と重症例の死亡率（6.26%）より高いものを網掛けで表記

【第六波】死亡例の分析（公表時の症状別年代毎の基礎疾患と死亡率）（令和4年2月17日判明時点）

死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

◆ 第六波（12/17～2/17判明分まで）の公表時の症状が無症状・軽症であった者の死亡率は、全体の死亡率（0.13%）と比較した場合、基礎疾患のある40代以上の者と基礎疾患のない70代以上の者の死亡率が高い。

年代別・基礎疾患の有無別死亡率（公表時の症状別）

（※P39表5参照）

公表時の症状	未就学児	就学児	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	年代調査中	合計
①重症	1	1	1	0	1	8	10	29	69	37	6	0	0	163
②無症状・軽症・調査中	25095	20662	54752	61864	51785	50901	33762	18333	15165	10801	3995	210	982	348307
③：②のうち重症化した者	2	0	0	3	2	13	31	33	101	71	11	1	0	268
④：②のうち重症でない者	25093	20662	54752	61861	51783	50888	33731	18300	15064	10730	3984	209	982	348039
②の死亡率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.02%	0.01%	0.09%	0.58%	1.81%	2.85%	2.86%	0.00%	0.12%
基礎疾患あり(死亡率)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.26%	0.22%	0.47%	2.59%	6.92%	12.07%	8.00%	0.00%	2.77%
基礎疾患なし(死亡率)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.00%	0.04%	0.15%	0.58%	0.99%	2.16%	0.00%	0.04%
③の死亡率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.05%	0.05%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
基礎疾患あり(死亡率)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.05%	0.05%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
基礎疾患なし(死亡率)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.02%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
④の死亡率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.02%	0.01%	0.08%	0.53%	1.77%	2.85%	2.86%	0.00%	0.12%
基礎疾患あり(死亡率)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.26%	0.22%	0.42%	2.41%	6.68%	12.07%	8.00%	0.00%	2.67%
基礎疾患なし(死亡率)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.00%	0.04%	0.13%	0.58%	0.99%	2.16%	0.00%	0.03%

全体の死亡率（0.13%）より高いものを網掛けで表記

【参考】重症例・死亡例の分析（年代毎の基礎疾患と重症化率） 積算数値①

表1 年代別・基礎疾患の有無別重症化率

年代 新規陽性者数	未就学児	就学児	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	年代調査中	合計
全体	3/25096	1/20663	1/54753	3/61864	3/51786	21/50909	41/33772	62/18362	170/15234	108/10838	17/4001	1/210	0/982	431/348470
(重症化率)	(0.01%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.01%)	(0.04%)	(0.12%)	(0.34%)	(1.12%)	(1.00%)	(0.42%)	(0.48%)	(0.00%)	(0.12%)
基礎疾患あり	2/44	1/27	1/130	1/270	2/501	11/1165	23/1834	41/1920	100/2699	72/2133	11/676	1/25	0/7	266/11431
(重症化率)	(4.55%)	(3.70%)	(0.77%)	(0.37%)	(0.40%)	(0.94%)	(1.25%)	(2.14%)	(3.71%)	(3.38%)	(1.63%)	(4.00%)	(0.00%)	(2.33%)
基礎疾患なし	1/25052	0/20636	0/54623	2/61594	1/51285	10/49744	18/31938	21/16442	70/12535	36/8705	6/3325	0/185	0/975	165/337039
(重症化率)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.02%)	(0.06%)	(0.13%)	(0.56%)	(0.41%)	(0.18%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.05%)

表2 公表時の症状が無症状・軽症・調査中だった者のうち、重症化した者の年代別・基礎疾患の有無別重症化率

公表時の症状	未就学児	就学児	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	年代調査中	合計
重症	1	1	1	0	1	8	10	29	69	37	6	0	0	163
無症状・軽症・調査中	25095	20662	54752	61864	51785	50901	33762	18333	15165	10801	3995	210	982	348307
公表時症状が無症状・ 軽症・調査中(重症化率)	2/25095	0/20662	0/54752	3/61864	2/51785	13/50901	31/33762	33/18333	101/15165	71/10801	11/3995	1/210	0/982	268/348307
(重症化率)	(0.01%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.03%)	(0.09%)	(0.18%)	(0.67%)	(0.66%)	(0.28%)	(0.48%)	(0.00%)	(0.08%)
基礎疾患あり	1/43	0/26	0/129	1/270	1/500	8/1162	17/1828	23/1902	61/2660	50/2111	6/671	1/25	0/7	169/11334
(重症化率)	(2.33%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.37%)	(0.20%)	(0.69%)	(0.93%)	(1.21%)	(2.29%)	(2.37%)	(0.89%)	(4.00%)	(0.00%)	(1.49%)
基礎疾患なし	1/25052	0/20636	0/54623	2/61594	1/51285	5/49739	14/31934	10/16431	40/12505	21/8690	5/3324	0/185	0/975	99/336973
(重症化率)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.01%)	(0.04%)	(0.06%)	(0.32%)	(0.24%)	(0.15%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.03%)

表3 年代別・基礎疾患の有無別死亡率

年代 新規陽性者数	未就学児	就学児	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	年代調査中	合計
全体	0/25096	0/20663	0/54753	0/61864	0/51786	8/50909	5/33772	18/18362	91/15234	200/10838	117/4001	6/210	0/982	445/348470
(死亡率)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.02%)	(0.01%)	(0.10%)	(0.60%)	(1.85%)	(2.92%)	(2.86%)	(0.00%)	(0.13%)
基礎疾患あり	0/44	0/27	0/130	0/270	0/501	3/1165	5/1834	10/1920	71/2699	148/2133	83/676	2/25	0/7	322/11431
(死亡率)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.26%)	(0.27%)	(0.52%)	(2.63%)	(6.94%)	(12.28%)	(8.00%)	(0.00%)	(2.82%)
基礎疾患なし	0/25052	0/20636	0/54623	0/61594	0/51285	5/49744	0/31938	8/16442	20/12535	52/8705	34/3325	4/185	0/975	123/337039
(死亡率)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.00%)	(0.01%)	(0.00%)	(0.05%)	(0.16%)	(0.60%)	(1.02%)	(2.16%)	(0.00%)	(0.04%)

【参考】重症例・死亡例の分析（年代毎の基礎疾患と重症化率） 積算数値②

表4 重症例431例の年代別・基礎疾患の有無別死亡率

患者の症状	未就学児	就学児	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	年代調査中	合計
重症例	3	1	1	3	3	21	41	62	170	108	17	1	0	431
上記以外	25093	20662	54752	61861	51783	50888	33731	18300	15064	10730	3984	209	982	348039
重症例431例のうちの死亡者数(死亡率)	0/3 (0.00%)	0/1 (0.00%)	0/1 (0.00%)	0/3 (0.00%)	0/3 (0.00%)	0/21 (0.00%)	1/41 (2.44%)	3/62 (4.84%)	11/170 (6.47%)	9/108 (8.33%)	3/17 (17.65%)	0/1 (0.00%)	0 (0.00%)	27/431 (6.26%)
基礎疾患あり(死亡率)	0/2 (0.00%)	0/1 (0.00%)	0/1 (0.00%)	0/1 (0.00%)	0/2 (0.00%)	0/11 (0.00%)	1/23 (4.35%)	2/41 (4.88%)	7/100 (7.00%)	7/72 (9.72%)	2/11 (18.18%)	0/1 (0.00%)	0 (0.00%)	19/266 (7.14%)
基礎疾患なし(死亡率)	0/1 (0.00%)	0/0 (0.00%)	0/0 (0.00%)	0/2 (0.00%)	0/1 (0.00%)	0/10 (0.00%)	0/18 (0.00%)	1/21 (4.76%)	4/70 (5.71%)	2/36 (5.56%)	1/6 (16.67%)	0/0 (0.00%)	0/0 (0.00%)	8/165 (4.85%)

表5 年代別・基礎疾患の有無別死亡率（公表時の症状別）

公表時の症状	未就学児	就学児	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	年代調査中	合計
①重症	1	1	1	0	1	8	10	29	69	37	6	0	0	163
②無症状・軽症・調査中	25095	20662	54752	61864	51785	50901	33762	18333	15165	10801	3995	210	982	348307
③：②のうち重症化した者	2	0	0	3	2	13	31	33	101	71	11	1	0	268
④：②のうち重症でない者	25093	20662	54752	61861	51783	50888	33731	18300	15064	10730	3984	209	982	348039
②のうち死亡者数(死亡率)	0/25095 (0.00%)	0/20662 (0.00%)	0/54752 (0.00%)	0/61864 (0.00%)	0/51785 (0.00%)	8/50901 (0.02%)	4/33762 (0.01%)	16/18333 (0.09%)	88/15165 (0.58%)	196/10801 (1.81%)	114/3995 (2.85%)	6/210 (2.86%)	0/982 (0.00%)	432/348307 (0.12%)
基礎疾患あり(死亡率)	0/43 (0.00%)	0/26 (0.00%)	0/129 (0.00%)	0/270 (0.00%)	0/500 (0.00%)	3/1162 (0.26%)	4/1828 (0.22%)	9/1902 (0.47%)	69/2660 (2.59%)	146/2111 (6.92%)	81/671 (12.07%)	2/25 (8.00%)	0/7 (0.00%)	314/11334 (2.77%)
基礎疾患なし(死亡率)	0/25052 (0.00%)	0/20636 (0.00%)	0/54623 (0.00%)	0/61594 (0.00%)	0/51285 (0.00%)	5/49739 (0.01%)	0/31934 (0.00%)	7/16431 (0.04%)	19/12505 (0.15%)	50/8690 (0.58%)	33/3324 (0.99%)	4/185 (2.16%)	0/975 (0.00%)	118/336973 (0.04%)
③のうち死亡者数(死亡率：分母は②)	0/2 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0/3 (0.00%)	0/2 (0.00%)	0/13 (0.00%)	0/31 (0.00%)	1/33 (0.01%)	8/101 (0.05%)	5/71 (0.05%)	0/11 (0.00%)	0/1 (0.00%)	0 (0.00%)	14/268 (0.00%)
基礎疾患あり(死亡率：分母は②)	0/43 (0.00%)	0/26 (0.00%)	0/129 (0.00%)	0/270 (0.00%)	0/500 (0.00%)	0/1162 (0.00%)	0/1828 (0.00%)	1/1902 (0.01%)	5/2660 (0.05%)	5/2111 (0.05%)	0/671 (0.00%)	0/25 (0.00%)	0/7 (0.00%)	11/11334 (0.00%)
基礎疾患なし(死亡率：分母は②)	0/25052 (0.00%)	0/20636 (0.00%)	0/54623 (0.00%)	0/61594 (0.00%)	0/51285 (0.00%)	0/49739 (0.00%)	0/31934 (0.00%)	0/16431 (0.00%)	3/12505 (0.02%)	0/8690 (0.00%)	0/3324 (0.00%)	0/185 (0.00%)	0/975 (0.00%)	3/336973 (0.00%)
④のうち死亡者数(死亡率：分母は②)	0/25093 (0.00%)	0/20662 (0.00%)	0/54752 (0.00%)	0/61861 (0.00%)	0/51783 (0.00%)	8/50888 (0.02%)	4/33731 (0.01%)	15/18300 (0.08%)	80/15064 (0.53%)	191/10730 (1.77%)	114/3984 (2.85%)	6/209 (2.86%)	0/982 (0.00%)	418/348039 (0.12%)
基礎疾患あり(死亡率：分母は②)	0/43 (0.00%)	0/26 (0.00%)	0/129 (0.00%)	0/270 (0.00%)	0/500 (0.00%)	3/1162 (0.26%)	4/1828 (0.22%)	8/1902 (0.42%)	64/2660 (2.41%)	141/2111 (6.68%)	81/671 (12.07%)	2/25 (8.00%)	0/7 (0.00%)	303/11334 (2.67%)
基礎疾患なし(死亡率：分母は②)	0/25052 (0.00%)	0/20636 (0.00%)	0/54623 (0.00%)	0/61594 (0.00%)	0/51285 (0.00%)	5/49739 (0.01%)	0/31934 (0.00%)	7/16431 (0.04%)	16/12505 (0.13%)	50/8690 (0.58%)	33/3324 (0.99%)	4/185 (2.16%)	0/975 (0.00%)	115/336973 (0.03%)

5 感染状況を踏まえた対応

大阪府における高齢者施設への対応について

- ◆ 高齢者施設等におけるクラスターの多発など、高齢者の入院患者の増加が医療提供体制ひっ迫の要因となっている。
- ◆ 施設での早期の重症化予防治療や施設内療養への支援等を強化するため、保健所業務の重点化を図るとともに、地域の医療機関との連携による感染対策の指導や往診等の治療体制整備、ワクチン接種の迅速化などを集中的に実施。

1. 保健所業務の高齢者施設対応への重点化(2/14~実施)

- ファーストタッチを行う対象の重点化(65歳以上)とあわせ、各保健所の高齢者施設対応を強化し、施設の医療体制・往診を支援。

2. 高齢者施設内での早期治療に向けたクラスター重点往診チームの設置

- 複数の陽性者が発生している高齢者施設等に対し、施設内での早期治療を促進するため、圏域単位で往診体制を強化。
- 健康医療部に大阪府高齢者施設等クラスター対応強化チームを設置。施設内で陽性者が発生した場合の対応手順をとりまとめ、市町村や医療機関と共有。施設における早期対応の促進により患者の重症化防止等を図ることで、救急搬送や受入病床のひっ迫状態を改善。

3. 大規模医療・療養センター等を活用した転院・入所の促進

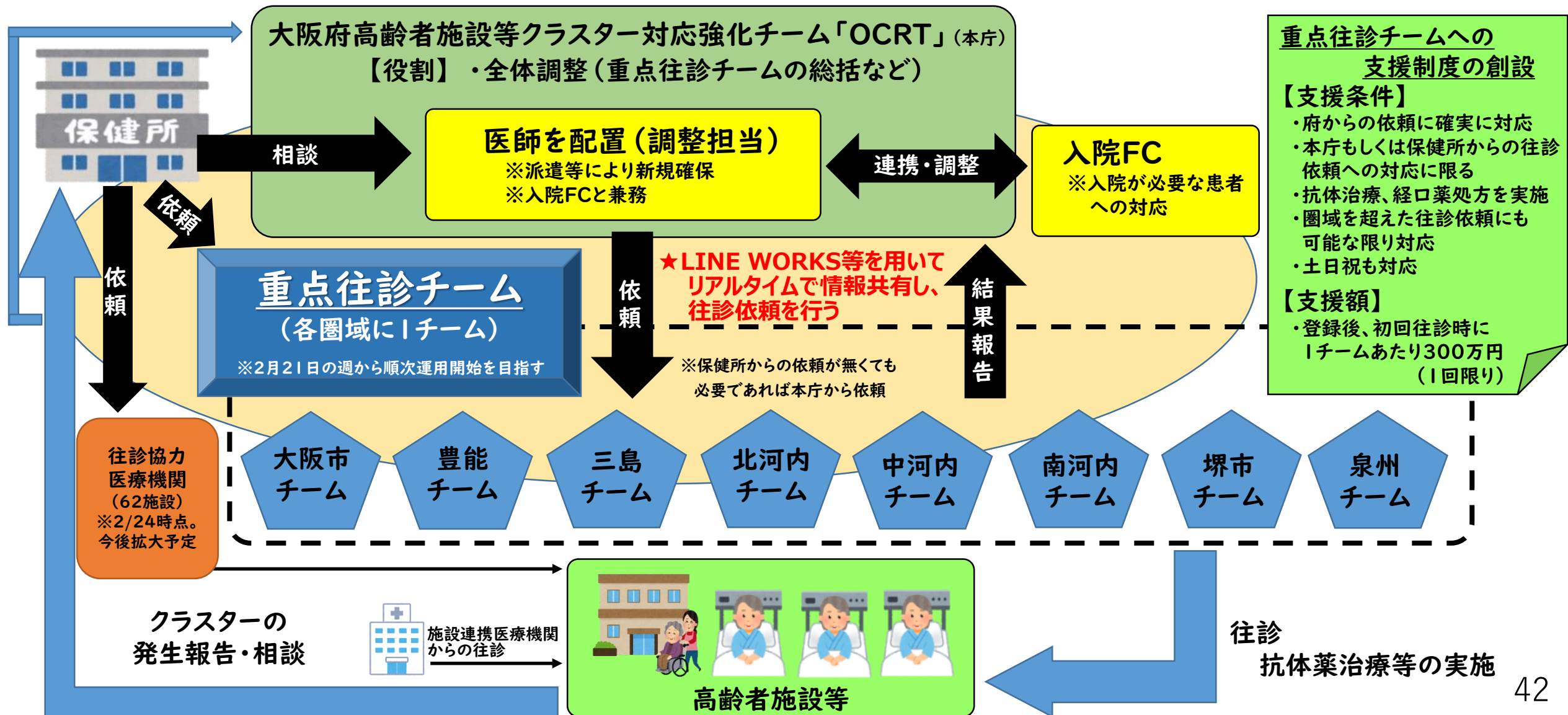
- 高齢の入院患者で症状が安定、軽快した患者について、転退院サポートセンターが大規模医療・療養センターや診療型宿泊療養施設(臨時の医療施設含む)への転院・入所を促進。

4. ワクチン接種の迅速化(2/15~要請)

- ワクチン追加接種未実施の高齢者施設に対する早期のワクチン接種の推進。
(市町村への2月末までの接種完了要請、施設管理者・医療機関への協力要請)

高齢者施設等への対策強化 ～「高齢者施設等クラスター重点往診チーム」の設置～

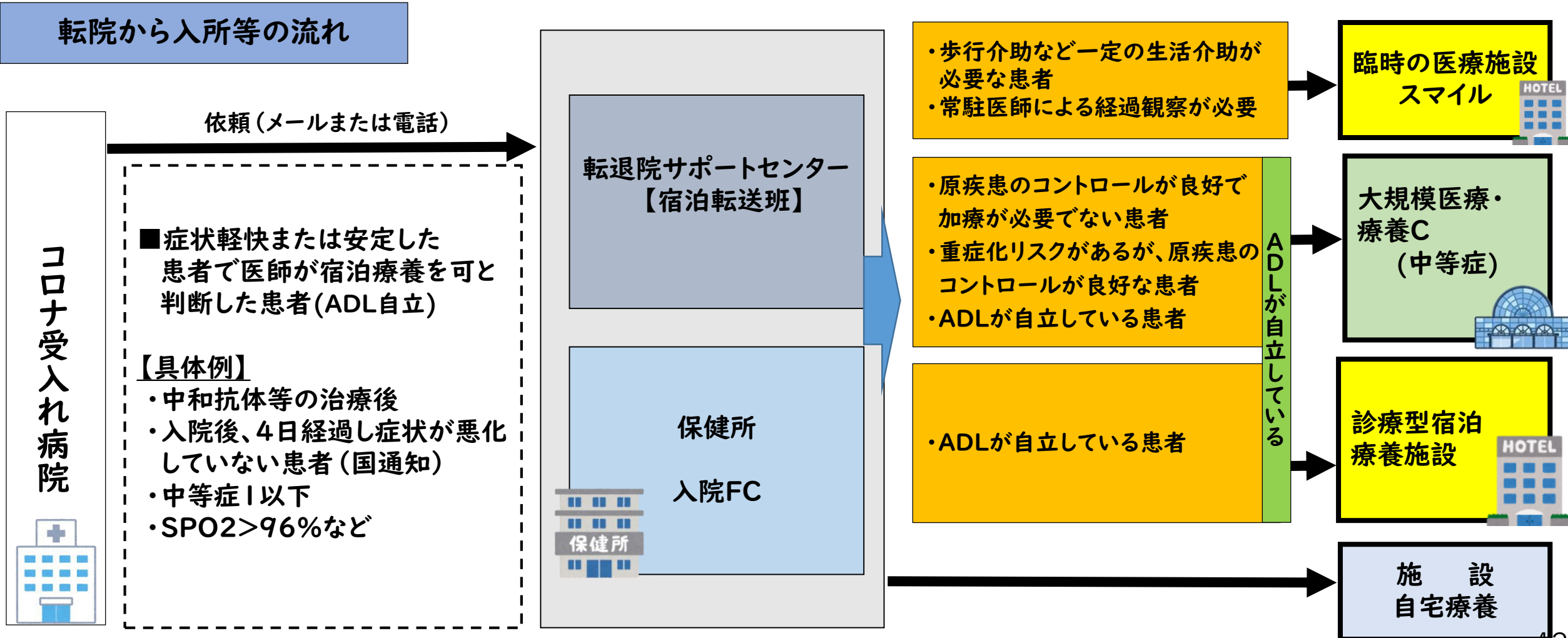
- ◆ 複数の陽性者が発生している高齢者施設等に対し、施設内での早期治療を促進するため、圏域単位で往診体制を強化。
- ◆ 健康医療部にチームを設置し、施設における早期対応の促進により患者の重症化防止等を図る。



コロナ受入病院からの転院・入所の促進について

- ◆ 軽症・中等症病床がひっ迫する中、入院患者で症状が安定、軽快した患者を診療型宿泊療養施設等に転送を促進するため、府転退院サポートセンター内に、「宿泊転送班」を設置し、専任看護師による調整を行う。
- ◆ 保健所の業務ひっ迫を考慮し、転退院サポートセンターが直接、転送を調整。【2月9日設置運用】

転院から入所等の流れ



「高齢者用臨時の医療施設」及び「高齢者用宿泊療養施設」の運用について

- ◆ 「臨時の医療施設・スマイル」（開設者：大阪府 運営体制：大阪医科薬科大学病院（診療体制を整備）、大阪府看護協会（健康観察・看護））が24時間運用を開始するとともに、「高齢者用臨時の医療施設」として運用
- ◆ あわせて、診療型宿泊療養施設の一部を「高齢者用宿泊療養施設」として運用

スマイルに国から派遣される医療従事者等

職種	受入実人数 ※ (2月21日時点)	配置人数 (2月21日時点)	派遣元機関
医師	6名	日勤4名 夜勤1名	地域医療機能推進機構、 国立研究開発法人 等
看護師	46名	日勤10名 夜勤6名	国立病院機構、 地域医療機能推進機構、 国立大学法人、 大阪府看護協会 等
准看護師	6名	日勤3名	大阪府看護協会
薬剤師	4名	日勤3名	国立病院機構、 地域医療機能推進機構
事務職 (ロジ業務担当)	3名	日勤3名	近畿厚生局
合計	65名	日勤23名 夜勤7名	

- ▶ 2月21日(月)から24時間運用を開始
- ▶ 中等症対応病床を24日(木)から拡大(19床→33床)

※ 上記のほか、国において引き続き関係機関と派遣調整中

高齢者用臨時の医療施設・宿泊療養施設の運用

- ▶ 新規陽性者のうち、高齢者の占める割合が増加しているため、原則として65歳以上の方に入所いただく高齢者用療養施設を運用
- ▶ 24時間診療対応が可能な臨時の医療施設及び診療型宿泊療養施設から、合わせて3施設程度を選定(調整中)

《臨時の医療施設：1施設》

◆ 臨時の医療施設・スマイル(150床)

＜対象患者例＞

- ・常時医師による経過観察が必要な患者
- ・歩行介助など一定の生活介助が必要な患者



《診療型宿泊療養施設：2施設程度》

◆ 【調整中】(450床程度)

＜対象患者例＞

- ・夜間も含めて経過観察が必要な患者
- ・基本的にADLが自立している患者

